

工 事 番 号							
設計年度	令和7年度		和田雨水排水ポンプ場除塵設備（機械設備）更新工事（7-1） 三原市 和田一丁目 仕 様 書				
施工月日	令和 年 月 日						
施工方法	請 負						
工事期間							
工 事 概 要			起 工 理 由				
施工内容 沈砂池機械設備 自動除塵機 N=1基 スキップホイス ト N=1基 ホ ッ パ N=1基 ホ ッ パ基礎 一式							

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、三原市和田一丁目 公共下水道事業 和田雨水排水ポンプ場除塵設備(機械設備)更新工事(7-1)に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・土木工事共通仕様書 令和6年8月 広島版
広島県の調達情報のページ (<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>) - 「技術管理基準等」に掲載している。
 - ・下水道土木工事必携(案) 2021年度 公益社団法人日本下水道協会
 - ・下水道用設計指針と設計標準図 平成26年度改訂版 三原市
 - ・その他関連規格類

第2節 現場の管理

受注者は、工事現場内において、管理技術者、主任技術者(下請を含む。)に工事名、工期、顔写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用するものとする。

第3節 支払い条件等

前払い金及び中間前払い・部分払等の支払いについては、Ⅰ期・Ⅱ期それぞれで行うものとする。

令和7年度は、Ⅰ期の出来高予定額の10分の4以内の額とし、72,088,720円(税込)以内の額とする。

令和8年度は、Ⅰ期の出来高予定額の10分の2以内の額(但し、前払金を含めた金額は、Ⅰ期の出来高予定額の10分の6以内の額)とし、36,044,360円(税込)以内の額とする。

第4節 部分引渡し

建設工事請負契約約款第39条により、本工事の内、部分引渡しの必要が生じた場合は、当該部分の検査を受け部分引渡しを行うこと。

第5節 検査

土木工事共通仕様書(令和6年8月広島版)『第3編 1-1-8 技術検査』によるほか、三原市工事検査規程の定めるところによる。

第6節 情報共有システム(設計金額500万円以上が対象)

- 1 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報交換システムの対象である。なお、運用に

あたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に基づき実施すること。

- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。

広島県工事中情報共有システム

<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>

- 3 監督員及び受注者が使用する情報共有サービスのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。
- 4 なお、工事完成時については、提出する必要がある工事成果品を電子納品すること。また、試行期間中は工事検査を紙媒体で受検することから、受注者は工事成果品 1 部を紙媒体により提出すること。
- 5 受注者は、監督員及びサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

第 7 節 週休 2 日工事等

本工事は、「発注者指定型」による週休 2 日工事等の対象工事であり、実施にあたっては「三原市週休 2 日適用工事等実施要領（土木工事）」に基づき実施するものとする。

第 8 節 熱中症対策に資する現場管理費の補正

- 1 本工事は、熱中症対策に資する現場管理費の補正をする工事とする。
- 2 受注者は、補正を希望する場合、監督員と協議すること。
- 3 工事の実施にあたっては「熱中症対策に資する現場管理費の補正の運用について」に基づき、行うこと。

第 9 節 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は、建設工事請負契約約款第 5 4 条に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乘せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

第 10 節 法令及び条例等の遵守

- 1 次の内容について、施工計画書の「その他」項目に記載すること。

- (1) 工事の実施にあたり、発注者から明示された、又は、受注者が行うべき『法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件』
- (2) 上記(1)の内容について『不測の事態等が生じた場合の対応方法』
- (3) 上記(1)、(2)の内容について『現場作業に従事する者に対する周知の方法』
- 2 「施工方法」等の関連する項目に、許可承諾条件等を適切に反映すること。
- 3 『法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件』等の変更が生じた場合は、施工計画書の内容に重要な変更が生じたものとし、変更施工計画書を提出すること。

第2章 施工条件

第1節 工 程

1 地下埋設物の事前調査

調査項目	地下埋設物（水道管等などの埋設物あり）
調査時期	工事施工前に試掘を行うこと。（支障物件が発見された場合は、監督員と協議すること。設計変更の対象とする。）
移設時期	必要に応じて、別途協議するものとする。
提出書類	「試掘結果報告書」として、提出するものとする。また、提出部数については監督員の指示によるものとする。

第2節 用 地

- 1 借 地 あらかじめ近隣住民に借地する目的、作業内容を充分説明し、同意を得て借地すること。

第3節 公害対策

1 事前・事後調査

調査区分	事前・事後及び工事施工中も大きな被害がある旨の申し出を受けた場合、監督員と協議の上調査すること。
調査時期	施工前・施工中・施工後（1ヶ月以内）
調査内容	柱、屋根、壁、基礎、建具等の傾斜、損傷状況
範 囲	別途協議による。

第4節 工事用道路

1 一般道路

搬入経路	特に指定しない。
使用期間	工事施工期間

使用時間 8時30分～17時

工事中・後の処置 随時 清掃、 工事後 舗装欠損部補修（工事前・後の写真により監督員と協議すること。設計変更の対象とする。）

第5節 建設副産物

1 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））（指定処分（A））

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。

また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

搬出場所 株式会社アヴァンセ沼田東納所リサイクルプラント（広島県三原市沼田東町納所 409）

なお、工事発生後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積）への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議の上、設計変更の対象とする。

2 産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において 300m² 以上の面積で保管する場合には、保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また、届出事項を変更する場合は事前に変更届を、保管をやめたときは 30 日以内に廃止届を提出すること。

ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

第6節 その他

1 工事用機資材の仮置き

場 所	指定しない
期 間	指定しない
保管方法	指定しない

第3章 設計金額

第1節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

土木工事共通仕様書（令和6年8月広島版）『第1編 1-1-33 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、排出ガス対策型（第2次基準値）以上の建設機械の使用に努めること。

なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第4章 第1節 工事保険等

受注者は、本工事において第三者に与えた損害を補填する保険又はその他必要とする建設工事に関連する保険等に参加しなければならない。また、加入した保険等については、保険証券の写し（保険以外の場合はそれに代わるもの）を監督員に提出すること。

なお、加入に必要な保険料等は、設計で現場管理費に見込んでいる。

第5章 工事損失等

本工事の施工に伴い、通常避けることのできない地盤沈下、振動等により建物等に損害等（以下「工事損失」という。）が発生した場合においては、次のとおりとする。

なお、工事損失に伴う補償費用は、設計で現場管理費に見込んでいる。

- | | |
|-------------|---|
| （1）原因調査 | 監督員と協力して行なうものとする。 |
| （2）補償交渉 | 監督員と協力して処理解決に当るものとする。 |
| （3）応急処置 | 監督員から応急処置を講じる必要があると指示された場合は、直ちに応急処置を講ずるものとする。 |
| （4）補償費用負担割合 | 発注者は、工事損失に伴う補償費用のうち、請負代金額の100分の1を超える額を負担する。 |

第6章 その他

本工事内及び近接する地域住民、企業等には工事内容等を十分に周知・調整したうえで、苦情やトラブルのないよう施工に努めること。また、特記仕様書及び設計図書に明示していない事項、または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

令和 7 年度

和田雨水排水ポンプ場除塵設備
(機械設備)更新工事(7-1)

特記仕様書

第 3 期

三原市下水道整備課

目 次

第1章 総則	1
第2章 機械設備	3
§ 1 No. 4 除塵機	3
§ 2 スキップホイスト	7
§ 3 ホッパ	10
第3章 複合工	12
§ 1 基礎工	12
§ 2 鋼製加工品類	13
第4章 撤去工	14
§ 1 機 器	14
第5章 仮設工	15
§ 1 仮設工事	15

第1章 総 則

1. 適用範囲

本特記仕様書は、和田雨水排水ポンプ場除塵設備(機械設備)更新(7-1)の施工に適用する。

2. 一般共通事項

本特記仕様書に記載なき場合は、下記の仕様書等を適用する。

- (1) 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編) 最新版 国土交通省官庁営繕部
- (2) 公共建築設備工事標準図(機械設備工事編) 最新版 国土交通省官庁営繕部
- (3) 機械設備標準仕様書 最新版 地方共同法人日本下水道事業団
- (4) 機械設備工事必携 最新版 地方共同法人日本下水道事業団
- (5) 機械設備工事一般仕様書 最新版 地方共同法人日本下水道事業団
- (6) 土木工事共通仕様書 令和4年8月 広島県
- (7) 下水道土木工事必携(案) 2021年度版 公益社団法人 日本下水道協会
- (8) 下水道用設計指針と設計標準図 平成26年度改訂版 三原市
- (9) その他関連規格類

3. 現場の管理

受注者は、工事現場内において、監理技術者、主任技術者(下請を含む。)に工事名、工期、顔写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用するものとする。

4. 検査

土木工事共通仕様書(令和6年8月 広島県)『第3編 3-1-1-8 技術検査』によるほか、三原市工事検査規程の定めるところによる。

5. 主任(監理)技術者の配置等

主任(監理)技術者の専任期間等

本工事に配置される技術者については、除塵機等の工場製作のみが行われている期間は、専任を要しないものとする。

なお、当該工場製作過程において、同一工場内で他の同種工事に係る製作と一元的な管理体制のもとで製作を行うことが可能である場合は、同一の技術者がこれらの製作を一括して管理することができるものとする。

主任(監理)技術者の変更の特例

本工事に配置される技術者については、除塵機等の工場から現地への工事の現場が移行する時点において、変更ができるものとする。

なお、発注者と受注者の協議により、交代の時期は工程上一定の区切りと認められる時点とするほか、交代前後における技術者の技術力が同等以上に確保されるとともに、一定期間重複して工事現場に設置し、工事の継続性、品質等を確保するものとする。

6. 工事カルテの作成および登録

請負者は、工事实績情報サービス(CORINS)に基づき「工事カルテ」を作成し、監督職員の確認を受けた後に(財)日本建設情報総合センターに登録し、「工事カルテ」の写しを監督

職員に提出すること。

7. その他

(1) 関連工事との調整

本工事の機種選定および施工においては、別途発注の関連工事を十分確認し、調整を行うこと。

(2) 責任施工

本工事の施工にあたって本仕様書、添付図面、別紙設計書に明示していないものがあったとしても、設備の性能発揮に当然必要なものは監督員の指示にしたがい、受注者の費用をもって施工しなければならない。また、重要寸法についてはあらかじめ現地実測の上決定し、万一数量寸法等に誤記があった場合は、監督員と打ち合わせ善処しなければならない。

(3) 耐震設計

耐震を十分考慮した構造および施工とすること。

(4) 工事保険等

受注者は、本工事において第三者に与えた損害を補填する保険又はその他必要とする建設工事に関連する保険等に参加しなければならない。また、加入した保険等については、保険証券の写し（保険以外の場合はそれに代わるもの）を監督員に提出すること。なお、加入に必要な保険料等は、設計で現場管理費に見込んでいる。

(5) 工事損失等

本工事の施工に伴い、通常避けることのできない地盤沈下、振動等により建物等に損害等（以下「工事損失」という。）が発生した場合においては、次のとおりとする。なお、工事損失に伴う補償費用は、設計で現場管理費に見込んでいる。

- | | |
|-------------|--|
| 1) 原因調査 | 監督員と協力して行うものとする。 |
| 2) 補償交渉 | 監督員と協力して処理解決に当るものとする。 |
| 3) 応急措置 | 監督員から応急措置を講じる必要があると指示された場合は直ちに応急措置を講じるものとする。 |
| 4) 補償費用負担割合 | 発注者は、工事損失に伴う補償費用のうち、請負代金の100分の1を超える額を負担する。 |

(6) 施工期間

既設除塵機の撤去および新設除塵機の設置時期については、非出水期の施工とする。

第2章 機械設備

§ 1 No.4除塵機

1. 使用目的

流入した下水中の比較的細い浮遊物を阻止し、かき揚げるのを目的とするものである。

2. 仕 様

項 目	仕 様	備 考
(1) 形 式	単一レーキ前面掻揚型	
(2) 池 寸 法	水路幅 2,500mm×深さ 3,300mm×1 池	
(3) ス ク リ ー ン	目幅 40 mm×取付角度 75°	
(4) 駆 動 装 置	3 ϕ ×2.2kW×440V×60Hz	
(5) 掻 揚 速 度	7.5m/分以下	
(6) 数 量	1 台	

3. 構造概要

本機は本体フレーム、駆動装置、レーキ、軸、スクリーン等よりなり、流入した下水中の浮遊物を阻止し、単一レーキにてかき揚げ搬出コンベヤ上に排出するものである。なお本機は駆動装置および回転部が水上にある構造である。

4. 製作条件

- (1) 本装置の各部の強度は十分な安全率をとるものとする。
- (2) 強度計算は全負荷荷重が片側に掛かったものとして計算すること。
- (3) 装置各部の強度は十分であっても、腐食摩耗のおそれがある部分は肉厚を考慮する。
- (4) スクリーンの強度は水位差及び流入浮遊物、流入量等を検討し、十分強度的に問題のない構造とする。
- (5) レーキ速度は、7.5m/min以下とする。

5. 各部の構造

各部構造は次による。

(1) 駆動装置

- 1) 駆動装置は、電動機と減速機を使用し、駆動軸への伝達はチェーン・歯車または直結にてレーキを駆動する。駆動用電動機が水没する恐れのある場合、水中形電動機を使用すること。
- 2) レーキはローラガイドにそって昇降が行われるものとする。
- 3) 電動機はブレーキ付電動機とする。
- 4) 点検架台には、鋼製階段を設け、昇降が容易に出来る構造とし、危険防止用の鋼管製手

摺を設けるものとする。

- 5) 点検架台および踏板には、床用縞鋼板（4.5mm以上）を張ること。
- 6) 電動機直結減速機の回転部には必要に応じカバーを設けること。
- 7) 主軸は、十分なる強度を有し、振りモーメントおよび曲げモーメントを同時に受けた場合に於いても十分安全なものとする。
- 8) 減速機が油潤滑の場合には減速機排油弁には、ビニルホース等の接続が可能な短管を取付け、常時はキャップ止めとしておく。

(2) フレーム

- 1) フレームは、形鋼および鋼板製（厚9mm以上）とし、溶接およびボルトで強固に組立、溶接歪、曲り等のない構造とする。
- 2) フレームは、かき揚げ用レーキのガイドレールを設け、し渣のかき揚げ、排出が支障なく行われるよう、構造的に十分考慮し、製作するものとする。
- 3) フレームに取付けるレーキガイドレールは、レーキに取り付けたガイドローラが転動して移動する溝を設けたもので、水路の両側壁部に設置する。
取付けは、壁面にアンカーボルトにて強固に取付けるものとする。
- 4) レーキガイドには、し渣が付着しないよう十分考慮するものとする。
- 5) シュートの清掃が容易に行えるよう、必要な場合には掃除口を設け、作業台に取付ける。
- 6) 駆動軸のフレーム貫通部は、密閉措置を行う。

(3) カバー

- 1) 上部のフレームには、鋼板（4.5mm以上）製のカバーを設けること。
- 2) カバーは、分解組立および点検、手入等が容易に出来る構造とし、適当なる点検扉（厚3.2mm以上）等を設けるとともに、十分なる強度を持たせるものとする。前面の点検扉とレーキとの間隔は十分とり、点検扉内側には取外し容易な保護用格子等を設ける。
- 3) カバー内にし渣が付着しないよう、各リブには60°以上の傾斜板を取付ける。
- 4) 扉用蝶番は全てステンレス製とする。
- 5) 扉にはストッパーを取付ける。

(4) シュート、エプロン

- 1) レーキにてかき揚げたし渣は、エプロン（厚9mm以上）上端部より所定の位置まで、シュート（厚6mm以上）にて停滞することなく排出出来る構造とすること。
- 2) シュートはエプロンと同様に、強度および腐食を考慮し、板厚を十分厚くすること。

(5) レーキ

- 1) レーキの先端には、バースクリーンのピッチに適合したつめを切り、能率良くし渣をかき取る構造とする。
- 2) レーキは、特に丈夫な構造とし、かき取ったし渣がこぼれないような構造とするものとする。
- 3) レーキには、両端にガイドローラを設け、水路両壁に設けたガイドレールに沿って円滑

に移動する構造とする。

(6) 細目スクリーン

- 1) 細目スクリーンは平鋼（75×9以上）を完全にひずみを取り除いてから、平鋼が等間隔になるようスペーサ（SUS304、Sch40以上）をはさみ、両ネジの通しボルトにて締付組立てること。
- 2) 細目スクリーンは支持用形鋼にボルトにて取付けるものとし、支持用形鋼は両端を水路側壁にアンカーボルトにて固定すること。
- 3) 池幅が2.5mを超える場合は2つ割とする。

(7) 給油装置

- 1) 給油方式は原則として集中給油方式とし、給油は手動グリースポンプによるもので、必要量の分配弁を設ける。グリースガンによる場合は、給油しやすい位置にグリースニップルを設けること。
- なお、給油口から各軸受までの配管は分配弁の1次側をステンレス管（SUS304、Sch40）、2次側は、水中部ステンレス管（SUS304）、その他は被覆銅管（CuT）および耐圧ゴムホースとする。
- 配管は、必要箇所を堅固に支持固定し、支持材を防食処理する。テークアップ等移動する軸受にはできる限りフレキシブル管を使用すること。

6. 使用材料

- | | | |
|-------------|------------------------|--------------------------------|
| (1) フレーム | 形鋼及び鋼板 | (SS400) |
| (2) 軸 | 機械構造用炭素鋼 | (S35C以上またはSTK+S45C以上) |
| (3) レーキ | ステンレス鋼 | (SUS304) |
| (4) 回転ローラ | 鋳鉄、機械構造用炭素鋼他 | (FC200以上、S35C以上) |
| | 軸受：オイルレスメタルまたはボールベアリング | |
| (5) スクリーン | ステンレス鋼 | (SUS304) |
| (6) スプロケット | 鋳鉄、機械構造用炭素鋼 | (SC480以上またはS45C以上、
FC500以上) |
| (7) その他接水要部 | ステンレス鋼 | (SUS304) |
| | (ピン、ボルト、スペーサ、通しボルト等) | |

7. 保護装置

- (1) 電氣的保護装置
過負荷防止用過電流検出器（電気設備工事）
- (2) 機械的保護装置
過負荷防止用減速機内臓トルクリミッタ

8. 試験・検査

機械設備工事一般仕様書（地方共同法人日本下水道事業団編著）による。

9. 塗 装

機械設備工事一般仕様書（地方共同法人日本下水道事業団編著）による。

10. 据 付

機械設備工事一般仕様書（地方共同法人日本下水道事業団編著）によるほか、下記の点を留意すること。

- (1) フレームおよびスクリーンは指定された取付角度に正確に据付けること。
- (2) フレームとスクリーンは相対的な位置を十分考慮し、かき揚げ時にレーキとスクリーンの噛み合いが、なんら支障のないよう十分注意すること。
- (3) カバー内スラブは、し渣が付着しないよう傾斜板あるいはモルタル仕上げを行う。
- (4) 除じん機前側のスラブ開口部には、グレーチングまたは既設と同様の蓋を取付け、グレーチングの場合には、さらにゴムシートを設ける。

11. 他工事との区分

(1) 土木、建築工事との区分

- 1) コンクリート躯体にアンカーボルトにて固定する機器のアンカーボルト用穴明りおよびその復旧工事は本工事に含む。
- 2) 据付部、水路底仕上用モルタルとアンカーボルト埋込みおよび埋込み用モルタル、各機器据付調整用モルタルは本工事に含む。

(2) 電気設備工事との区分

- 1) 機械設備工事一般仕様書（地方共同法人日本下水道事業団編著）による。

12. 標準付属品

- | | |
|---|-----|
| (1) アンカーボルト | 1 式 |
| (2) 照明器具（防水形、ガード付）
（本体上部用、スクリーン前面部用） | 2 個 |
| (3) 給油配管 | 1 式 |
| (4) その他必要品 | 1 式 |

13. 特記事項

§ 2. スキップホイス

1. 使用目的

本機は、掻揚げ搬出されたし渣をホッパまで搬出するために使用するものである。

2. 仕様

項目	仕様	備考
(1) 形式	スキップホイス	
(2) 揚程	約 8.0m	
(3) バケット容量	0.5m ³	
(4) 駆動装置	3φ×3.7kW×440V×60Hz	
(5) 数量	1 台	

3. 構造概要

本装置は、し渣をホッパまで搬出するために設置するものである。

機器の構成は、ガイドレール、バケット駆動装置およびワイヤロープよりなる。

4. 製作条件

- (1) 本装置の各部の強度は、実動力が十分な安全率をとるものとする。
- (2) ワイヤロープの強度計算は安全率を 8 倍以上とるものとする。
- (3) 装置各部の強度は十分であっても腐食及び摩耗のおそれがある部分は肉厚を考慮する。
- (4) クレーン等安全規格及び構造規格に適合するように製作すること。
- (5) し渣が飛散しない構造とし、巻上げ速度は約10m/分とする。

5. 各部の構造

各部の構造は次による。

(1) 駆動装置

- 1) 駆動装置は電動機直結サイクロ減速機または遊星歯車減速機等を使用し、巻胴へ動力を伝達する。
- 2) 回転部に鋼板製カバーをつける場合は、カバーには点検手入および給油に便利なのぞき窓（カバーを付ける）を設けること。屋外に設置する場合には、駆動装置にカバー（SUS製、2mm厚以上）を取付け、換気について十分考慮する。
- 3) 駆動装置廻りには必要に応じ点検歩廊（4.5mm厚縞鋼板）及び手摺を設ける。
- 4) ワイヤロープは、バケットが下限に達しても 3 巻以上の捨て巻きを有した余裕がある構造とする。
- 5) 減速機排油弁には、ビニルホース等の接続が可能な短管を取付け、常時はキャップ止めとしておく。
- 6) 巻上げドラムには、危険防止用のカバーを設ける。
- 7) 電動機は電磁ブレーキ付とする。

(2) ガイドレール

- 1) ガイドレールは形鋼および鋼板より組合せたものでホッパ用架台に組付けるものとし

る。なお駆動装置をガイドレール上に設置する場合は、十分な強度を有する構造とすること。

- 2) ガイドレールはバケットの昇降により歪が生じないようホップ架台およびコンクリート床に強固に取付け、継目部分はガイドローラが円滑に通過するよう、滑らかに仕上げるものとする。
- 3) ガイドレールは運転時の外力や振動に対して、全体的にバランスのとれたものとし、バケット内の積載物がホップのほぼ中央に落下するような構造とすること。またガイドレールの下部にはバケットの落下緩衝用装置を設けること。
- 4) ガイドレールの最上部には固定シーブまたは固定ローラを設けること。
- 5) ガイドレールに沿ってステンレス製（SUS304、厚さ2mm以上）の防護用カバーを取付け、必要な箇所には点検扉を設ける。
- 6) 修理時にはバケットを取り外せる構造とする。

(3) バケット

- 1) バケットは鋼板製とし十分なる強度を持った構造としガイドローラは炭素鋼または鋳鋼製とすること。
- 2) バケットが昇降中万一電源が遮断された場合は直ちにブレーキが作動して荷重を安全に保持する構造とする。
- 3) バケットの上限、下限の停止はリミットスイッチで行うものとし、リミットスイッチは耐水形のものを使用すること。
- 4) その他、過巻防止用・たるみ防止用および乱巻防止用リミットスイッチを設けること。

(4) 給油方式

- 1) 各部給油の必要な軸受けには給油配管をする。
- 2) 集中給油によることが出来る箇所はグリースニップルを給油のしやすい位置に集め、グリースガンにて給油するものとする。なお給油口から各軸受までの配管は銅管を使用し、受金物等必要品一切を設けるものとする。

6. 使用材料

- | | |
|------------|-----------------------|
| (1) ガイドレール | 形鋼および鋼板（SS400） |
| (2) バケット | 形鋼および鋼板（SS400） |
| (3) ワイヤロープ | ステンレス製（SUS304、JISに準拠） |

7. 保護装置

(1) 電氣的保護装置

- 1) 過巻防止用リミットスイッチ
- 2) たるみ防止用リミットスイッチ
- 3) 乱巻防止用リミットスイッチ
- 4) 過下限リミットスイッチ

(2) 機械的保護装置

- 1) 上昇・下降逸走防止用ストッパ
- 2) 過負荷防止用減速機内蔵トルクリミッタ

8. 試験・検査

機械設備工事一般仕様書（地方共同法人日本下水道事業団編著）による。

9. 塗 装

機械設備工事一般仕様書（地方共同法人日本下水道事業団編著）による。

10. 据 付

機械設備工事必携によるほか、下記の点を留意すること。

- (1) 据付は他機器との取合を十分考慮し所定の位置に正確に据付けること。
- (2) 下部ピット内に設けるリミットスイッチは、点検に便なる位置に取付ける。

11. 他工事との区分

(1) 土木、建築工事との区分

- 1) コンクリート躯体にアンカーボルトにて固定する機器のアンカーボルト用孔明りおよび、その復旧工事は本工事に含む。
- 2) 据付部仕上モルタルと、アンカーボルト埋込および埋込用モルタル、各機器据付調整用モルタルは本工事に含む。

(2) 電気設備工事との区分

- 1) 機械設備工事一般仕様書（地方共同法人日本下水道事業団編著）に準拠する。

12. 標準付属品

- | | |
|-------------|-----|
| (1) アンカーボルト | 1 式 |
| (2) 給油配管 | 1 式 |

13. 特記事項

- (1) 仮設工事を考慮した、段階的な据付けが行えるガイドレールの構造とすること。
- (2) 塩害対策を施すこと。
 - 1) 機器類 S S + Z n メッキ + エポキシ系塗装

§ 3. ホッパ

1. 使用目的

本機は、し渣を一時貯留、搬出するために使用するものである。

2. 仕 様

項 目	仕 様	備 考
(1) 形 式	鋼板製カットゲート式	
(2) 容 量	4.0m ³	呼称容量
(3) 電 動 機 出 力	0.75kW×4P×2	
(4) 電 源	440V×60Hz	
(5) 数 量	1 基	

3. 構造概要

本ホッパは、し渣を貯留し、更に下部排出する装置を有するもので、ホッパ本体、架台、電動開閉装置等よりなる。

4. 製作条件

(1)アーチング現象防止のため角錘角度60° 以上とすること。

なお、ホッパは、呼称容量（m³入）の15%増しの空m³で製作する。

5. 各部の構造

各部の構造は次による。

- (1)ホッパは鋼板（厚6mm以上）および形鋼を用いた溶接構造とし、その架台はコンクリート基礎上に基礎ボルトで強固に取付けること。
- (2)ゲートの開閉はカットゲート式とし、駆動は電動によって行う。
- (3)ホッパは、ロードセル（歪ゲージ）式重量検知器により、重量指示できるものとし、ホッパ1基毎に4個の検出端とV/I変換器を附属する。なお、V/I変換器電気設備工事に支給するものとする。
- (4)ホッパ下部には、搬出車の通行に支障のない位置に、移動可能な排水受けといを設けること。排水管も合わせて設置すること。

6. 使用材料

(1)本体 SS400

7. 保護装置

(1)機械的保護装置

1)減速機内蔵トルクリミッタ

8. 試験・検査

機械設備工事一般仕様書（地方共同法人日本下水道事業団編著）に準拠するほか、現場操

作試験を行う。

9. 塗 装

機械設備工事一般仕様書（地方共同法人日本下水道事業団編著）による。

10. 据 付

機械設備工事一般仕様書（地方共同法人日本下水道事業団編著）による。

11. 他工事との区分

(1) 土木、建築工事との区分

1) コンクリート躯体にアンカーボルトにて固定する機器のアンカーボルト用穴明りおよび、その復旧工事は本工事に含む。

2) 据付部仕上モルタルとアンカーボルト埋込、埋込用モルタル、各機器据付調整用モルタルは本工事に含む。

(1) 電気設備工事との区分

集合端子箱又は各機器の端子箱を設け、二次側の配線とともに本工事とする。また、端子台がない場合には、機械側で端子箱を設ける。なお、それ以降の配線接続は電気設備工事とする。

12. 標準付属品

(1) 開閉装置	1 式
(2) 基礎ボルト・ナット	1 式
(3) 重量検出器（V/I変換器含む）	1 式
(4) 排出側スカート（ゴム製または布入りビニール製）	1 式
(5) 水切りとい	1 式

13. 特記事項

(2) 塩害対策を施すこと。

2) 機器類 SS+Znメッキ+エポキシ系塗装

3) 点検歩廊等 SS+Znメッキ

第3章 複合工

§ 1 基礎工

1. 基礎工仕様及び施工範囲

番号	名称	設置場所	主寸法	数量	備考 (防食塗装、防水等)
1	除塵機基礎	沈砂池	設計図面 参照	1	
2	スキップホスト 基礎	屋外	設計図面 参照	1	
3	ホッパ基礎	屋外	設計図面 参照	1	

2. 機械設備工事一般仕様書（地方共同法人日本下水道事業団編著）の適用

3. 特記事項

(1) 詳細は、機器配置図、添付図による。

§ 2 鋼製加工品類

1. 鋼製加工品仕様及び施工範囲

番号	名称	設置場所	主寸法	数量	備考 (防食塗装、防水等)
1	点検歩廊 及び階段	屋外	設計図面 参照	1 式	SS400+Zn メッキ
2	ホッパ架台	屋外	設計図面 参照	1	SS400+Zn メッキ

2. 機械設備工事一般仕様書（地方共同法人日本下水道事業団編著）の適用

3. 特記事項

(1) 詳細は、機器配置図、添付図による。

第4章 撤去工

§ 1 機器

1. 撤去機器

番号	名 称	設置場所	仕様	数量	備 考
1	スキップホイスト	屋外	ワイヤーロープ式 0.5m ³ ×3.7kW	1 台	
2	ホッパ	屋外	鋼板製カットゲート式 4m ³ ×2.2kW×2	1 基	

2. 特記事項

- (1) 詳細は、機器配置図、添付図による。
- (2) 撤去品のうち産業廃棄物の対象となる物については指定場所への処分を行うこと。
- (3) 産業廃棄物または有償物が発生した際は、産業廃棄物処分場等へ適正に処分を行い、マニフェストまたは伝票類を整理し撤去数量が分かるように監督員へ提出すること。

本 工 事 費 内 訳 表

工 種	種 別	細 別	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
*** 和田雨水排水ポンプ場除塵設備(機械設備)更新工事(7-1) ***							
	機械設備工事		1	式			
	消費税相当額		1	式			
	小計						
	土木工事		1	式			
	消費税相当額		1	式			
	小計						

工事数量総括表

頁0 -0001

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
設備工（機器費）		式		1	レベル1
ポンプ設備工		式		1	レベル2
ポンプ設備工		式		1	レベル3
設計技術費対象		式		1	レベル4
* * 機器費 * *					
設備工		式		1	レベル1
水処理設備工		式		1	レベル2
輸送費		式		1	レベル3
運搬費		式		1	レベル4
材料費		式		1	レベル3
直接材料費		式		1	レベル4
補助材料費		式		1	レベル4
労務費		式		1	レベル3
一般労務費		式		1	レベル4
機械設備据付労務費		式		1	レベル4
複合工費		式		1	レベル3
複合工		式		1	レベル4

工事数量総括表

頁0 -0002

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
直接経費		式		1	レベル3
総合試運転費		式		1	レベル4
仮設費		式		1	レベル3
* * 直接工事費 * *					
準備費					
準備費		式		1	レベル2
準備費		式		1	レベル3
準備費		式		1	レベル4
共通仮設費率分					
* * 共通仮設費 * *					
* * 純工事費 * *					
現場管理費					
据付間接費					
* * 据付工事原価 * *					
設計技術費					
* * 工事原価 * *					
一般管理費率分額					
契約保証費					

工事数量総括表

頁0 -0003

[illegible]

工事数量総括表

頁0 -0001

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
処理場・ポンプ場		式		1	レベル1
本体作業土工		式		1	レベル2
掘削工		式		1	レベル3
掘削(土砂)		m3		15	レベル4
埋戻工		式		1	レベル3
埋戻し(流用土)		m3		13	レベル4
残土処理工		式		1	レベル3
基礎工		式		1	レベル2
既製杭工		式		1	レベル3
既製コンクリート杭		本		4	レベル4
基礎工		式		1	レベル3
基礎材		m2		25	レベル4
均しコンクリート		m3		1	レベル4
コンクリート		m3		14	レベル4
型枠		m2		17	レベル4
鉄筋		t		1.384	レベル4
後施工アンカー	D13	本		12	レベル4

工事数量総括表

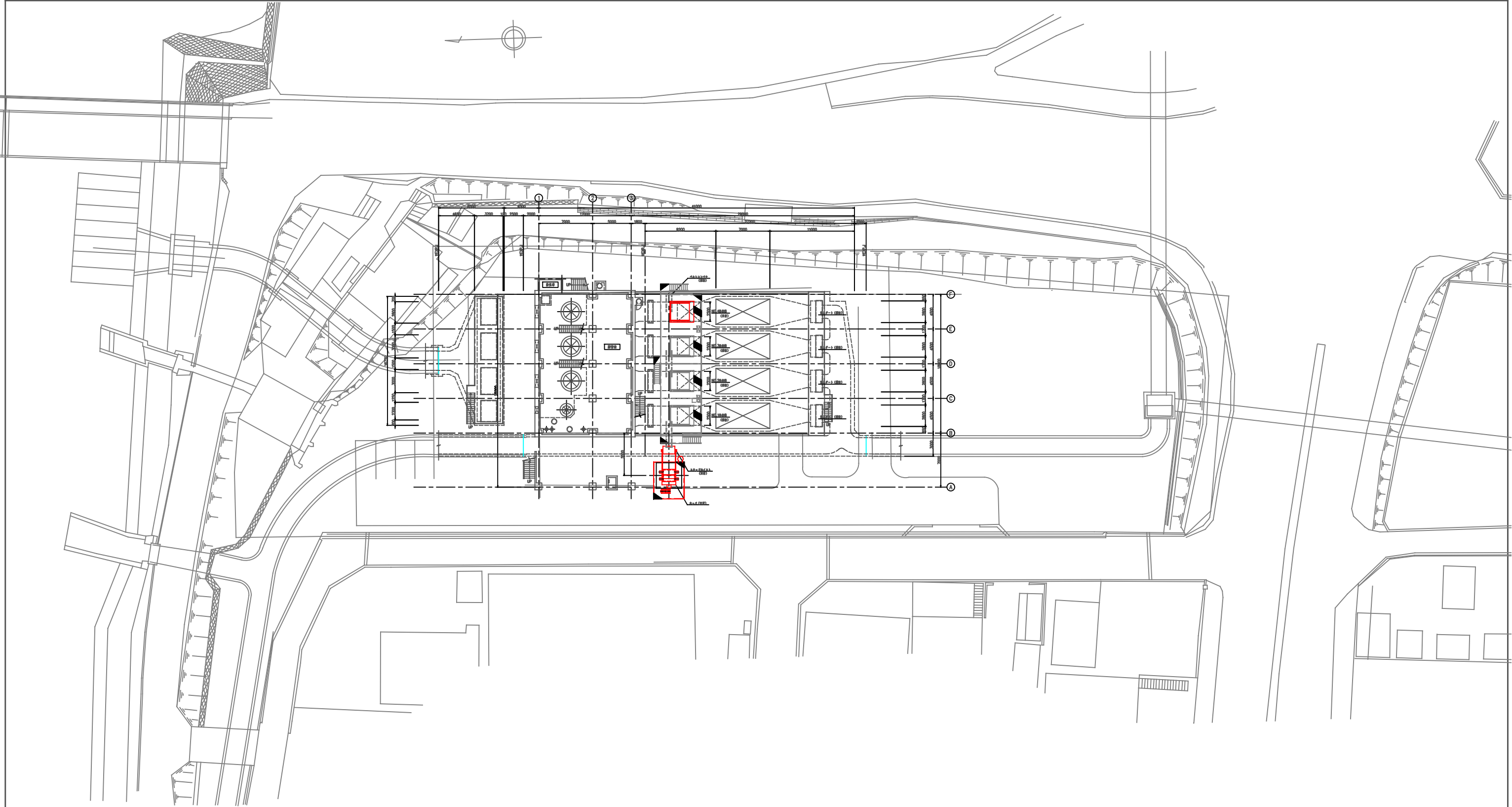
頁0 -0002

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
構造物撤去工		式		1	レベル2
構造物取壊し工		式		1	レベル3
コンクリート構造物取壊し		m3		13	レベル4
殻運搬処理		m3		13	レベル4
* * 直接工事費 * *					
運搬費					
運搬費		式		1	レベル2
運搬費		式		1	レベル3
重建設機械分解組立輸送費		回		2	レベル4
共通仮設費率分					
* * 共通仮設費計 * *					
* * 純工事費 * *					
現場管理費					
* * 工事原価 * *					
一般管理費率分					
契約保証費					
一般管理費計					
* * 工事価格 * *					

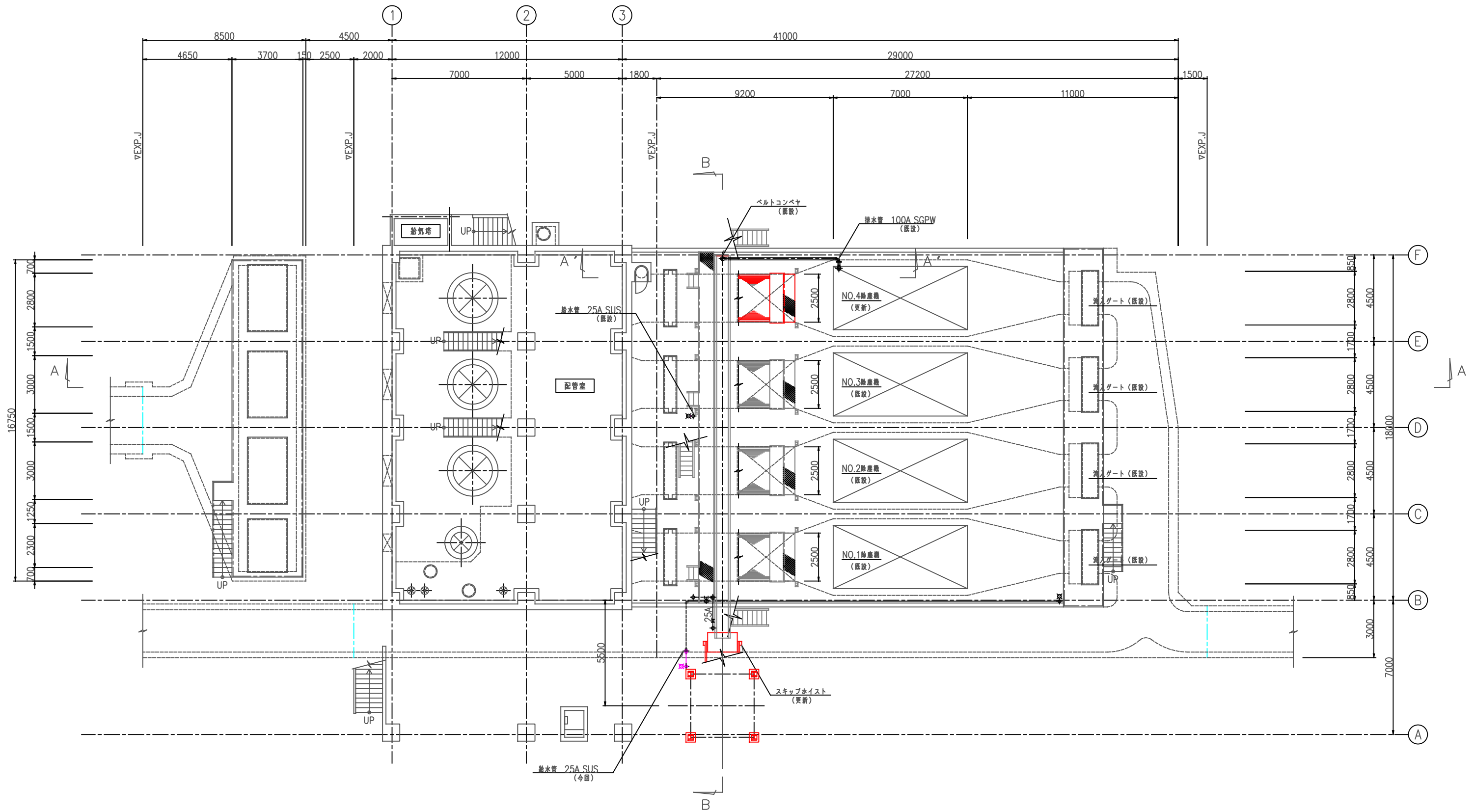
工事数量総括表

頁0 -0003

[illegible]

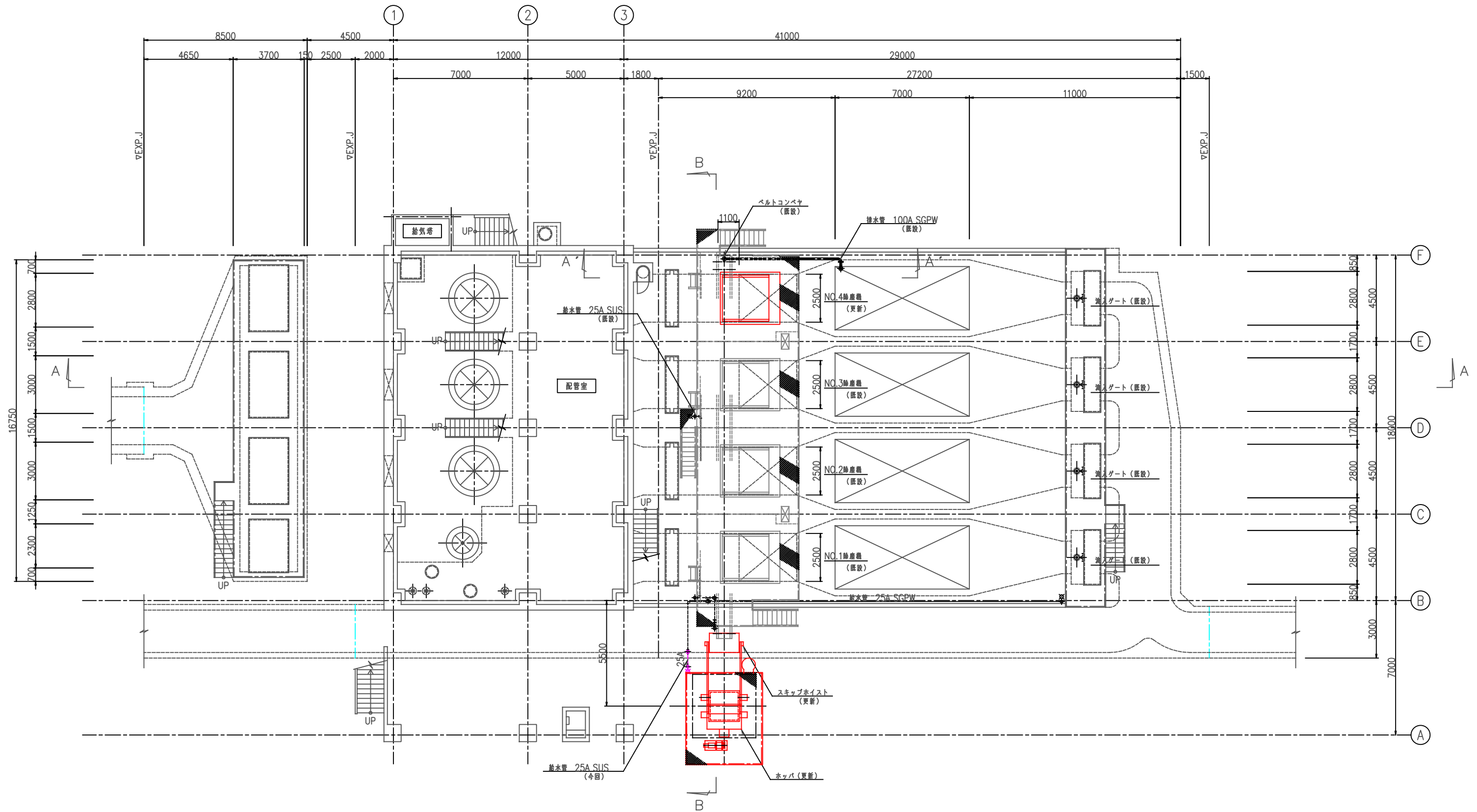


令和 7 年度 公共下水道事業（雨水）			
工事名	和田雨水排水ポンプ場除塵設備 （機械設備）更新工事（7-1）		
工事場所	三原市和田1丁目地内		
図面番号	PM-1	縮尺	1/250
全体配置図			
三 原 市			



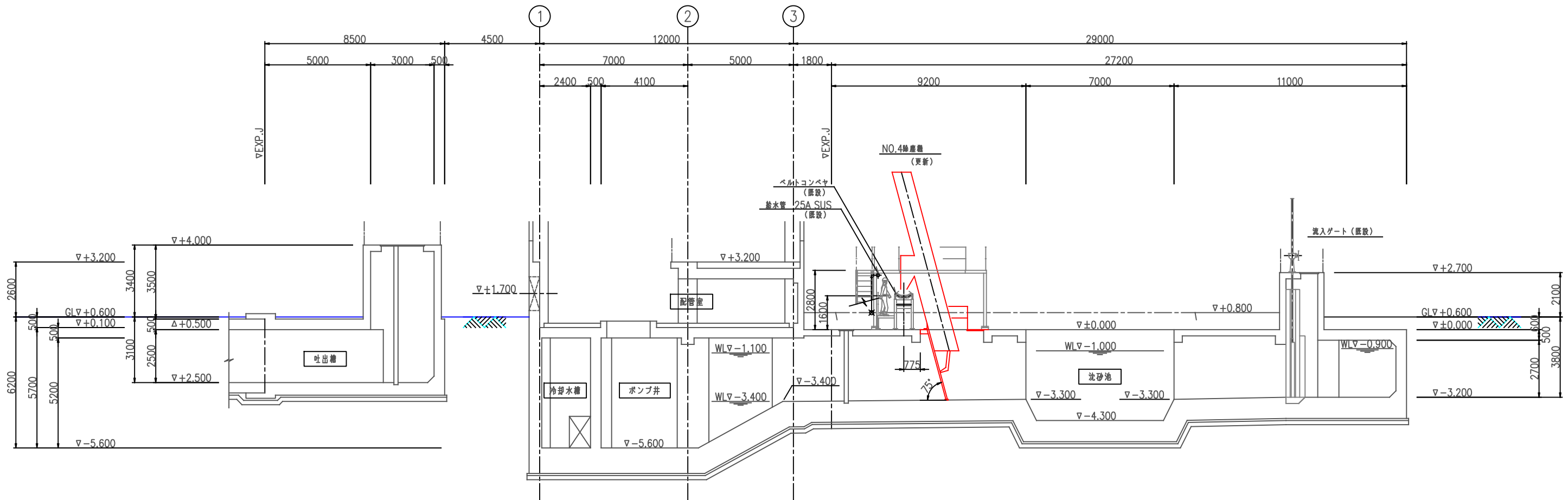
1 階 下 部 平 面 図

令和 7 年 度 公 共 下 水 道 事 業 (雨 水)			
工 事 名	和 田 雨 水 排 水 ポ ン プ 場 修 繕 設 備 (機 械 設 備) 更 新 工 事 (7 - 1)		
工 事 場 所	三 原 市 和 田 1 丁 目 地 内		
図 面 番 号	PM - 3	縮 尺	1 / 1 0 0
更 新 平 面 図 (1)			
三 原 市			

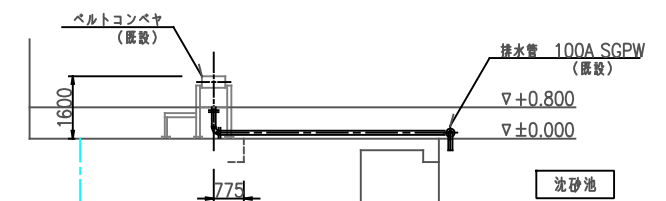


1 階 上 部 平 面 図

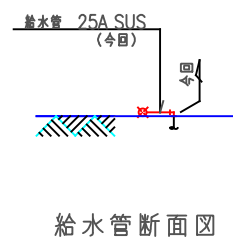
令和 7 年 度 公 共 下 水 道 事 業 (雨 水)			
工 事 名	和田雨水排水ポンプ場除塵設備 (機械設備) 更新工事 (7-1)		
工 事 場 所	三原市和田 1 丁目地内		
図面番号	PM-4	縮尺	1/100
更新平面図 (2)			
三 原 市			



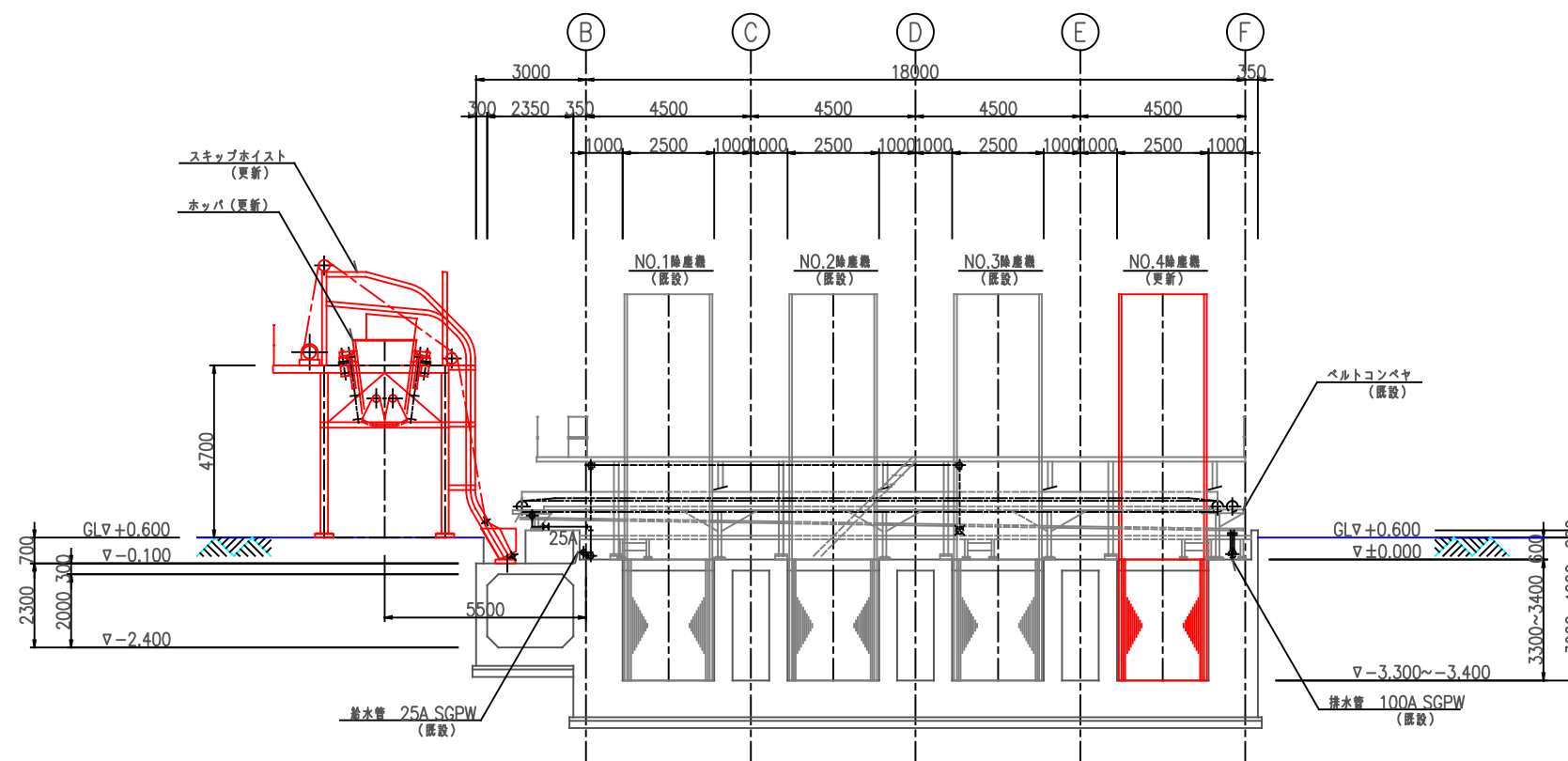
A - A 断面図



A' - A' 断面図



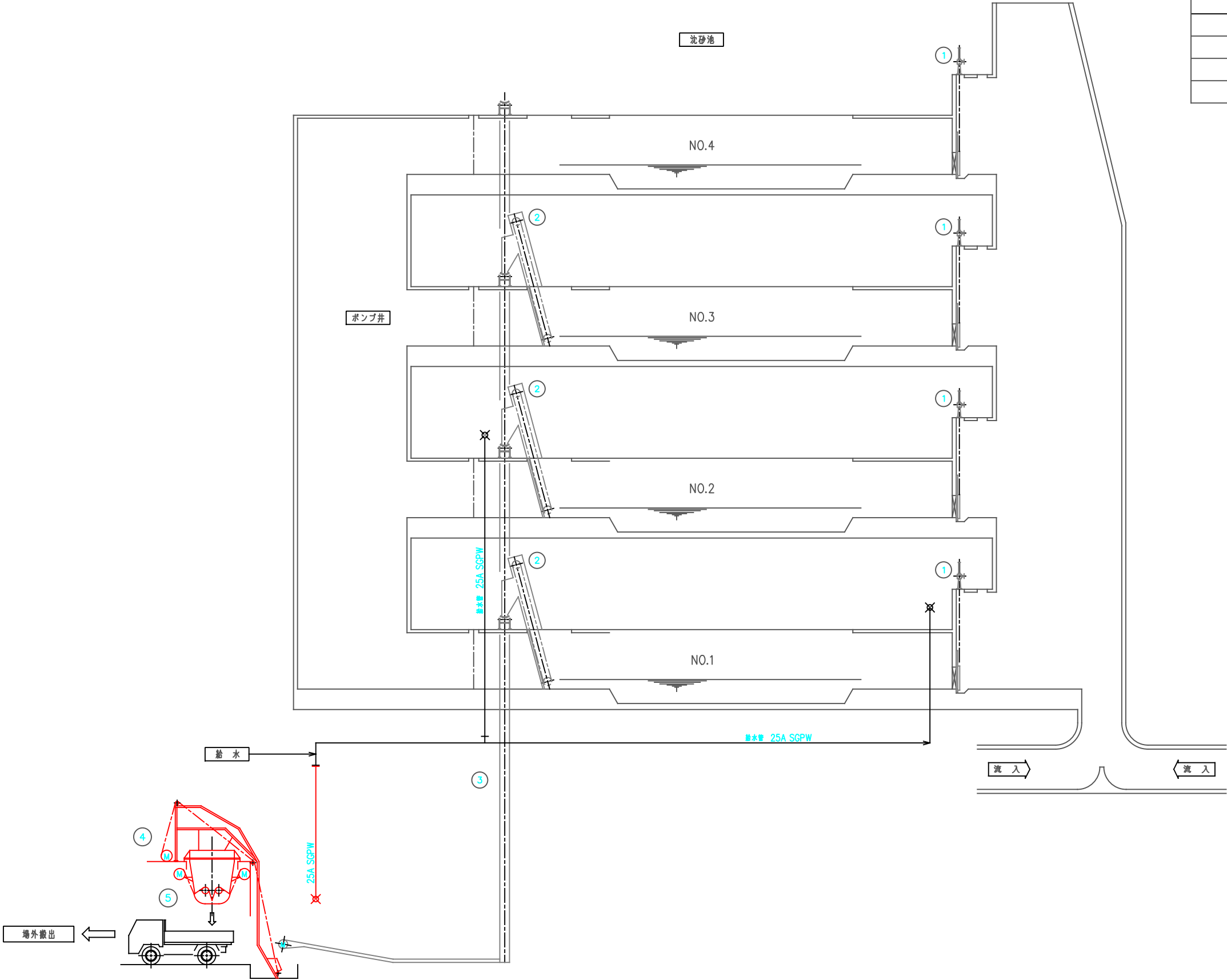
給水管断面図



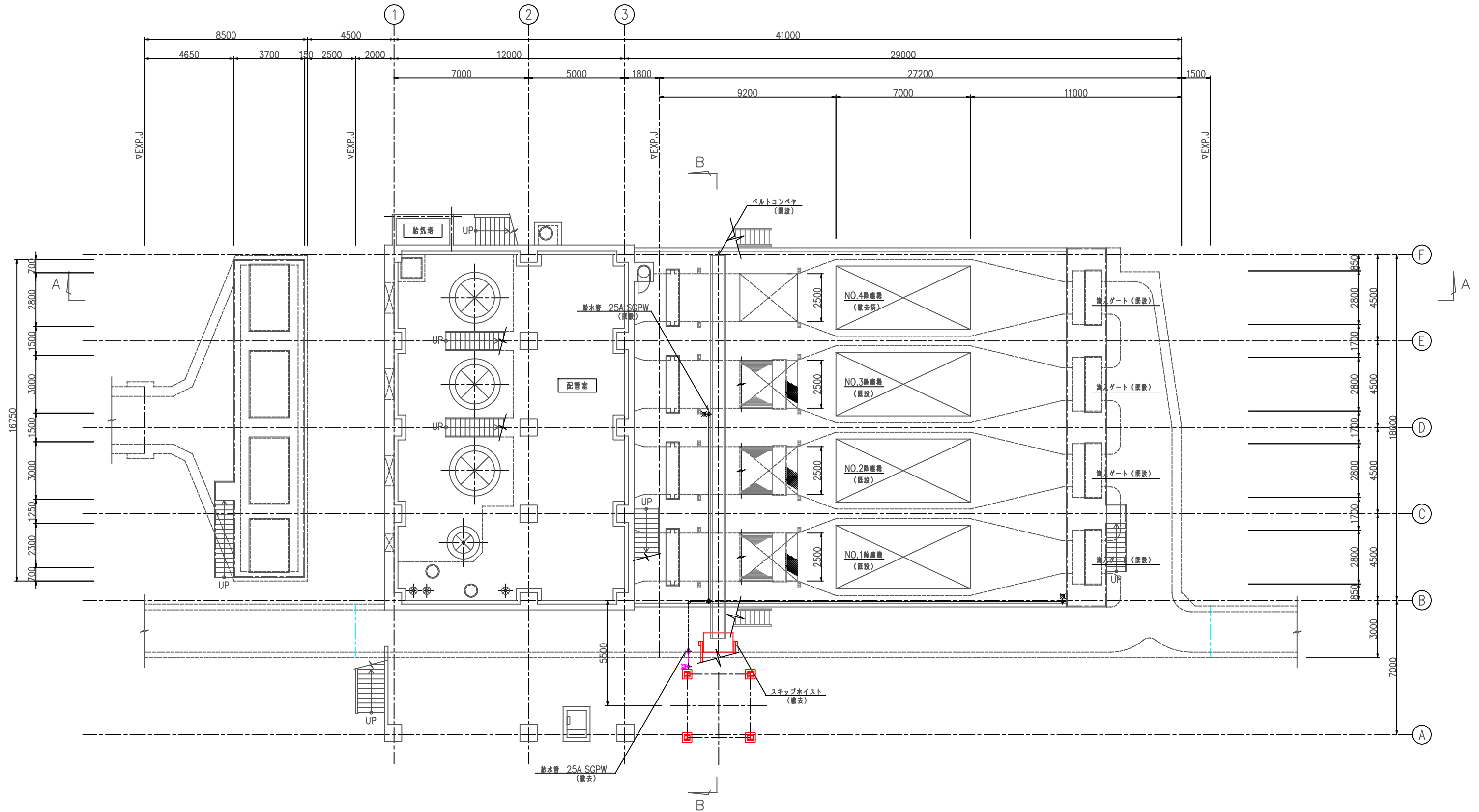
B - B' 断面図

令和 7 年度 公共下水道事業 (雨水)			
工事名	和田雨水排水ポンプ場除塵設備 (機械設備) 更新工事 (7-1)		
工事場所	三原市和田 1 丁目地内		
図面番号	PM-5	縮尺	1/100
更新断面図			
三 原 市			

番号	名 称	仕 様	動 力 (KW)	数 量			備 考
				全 体	撤 去	既 設	
①	流入ゲート	鋼製ローラゲート 1600W×2400H	－	4	0	4	
②	除塵機	単一レーキ筒型掃帚型 40mm×75"	1.5×2	4	0	3	
③	ベルトコンベヤ	20"トラフ形ベルトコンベヤ 幅600mm×最大長19000mm	1.5	1	0	1	
④	スキップホイスト	スキップホイスト バケット容量±0.5m³	3.7	1	1	1	
⑤	ホッパ	鋼板製 4.0m³	2.2×2	1	1	1	

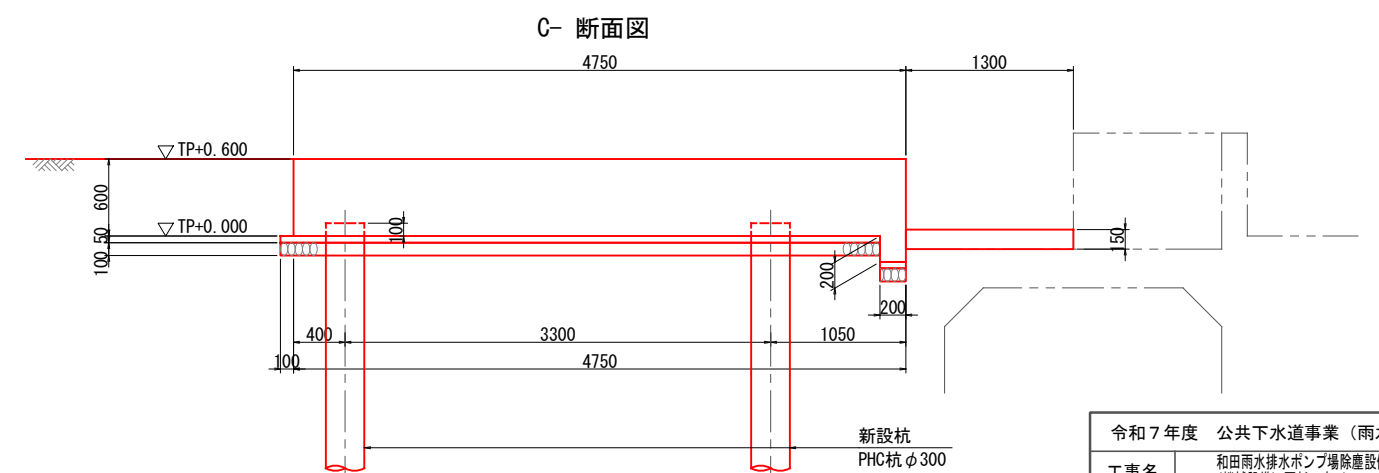
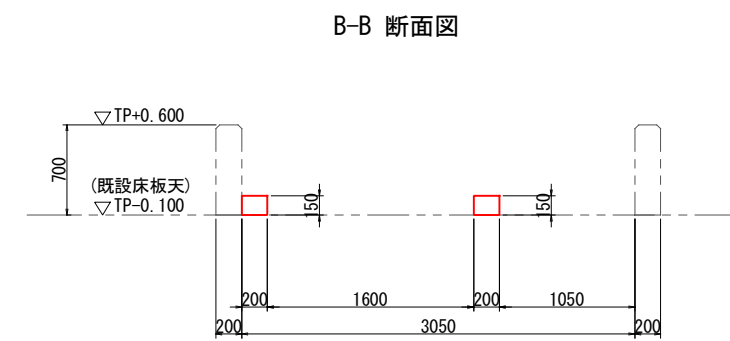
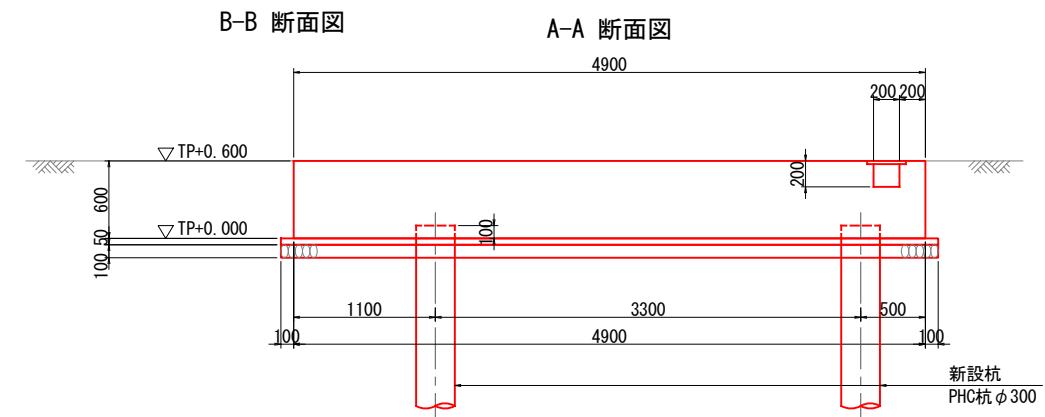
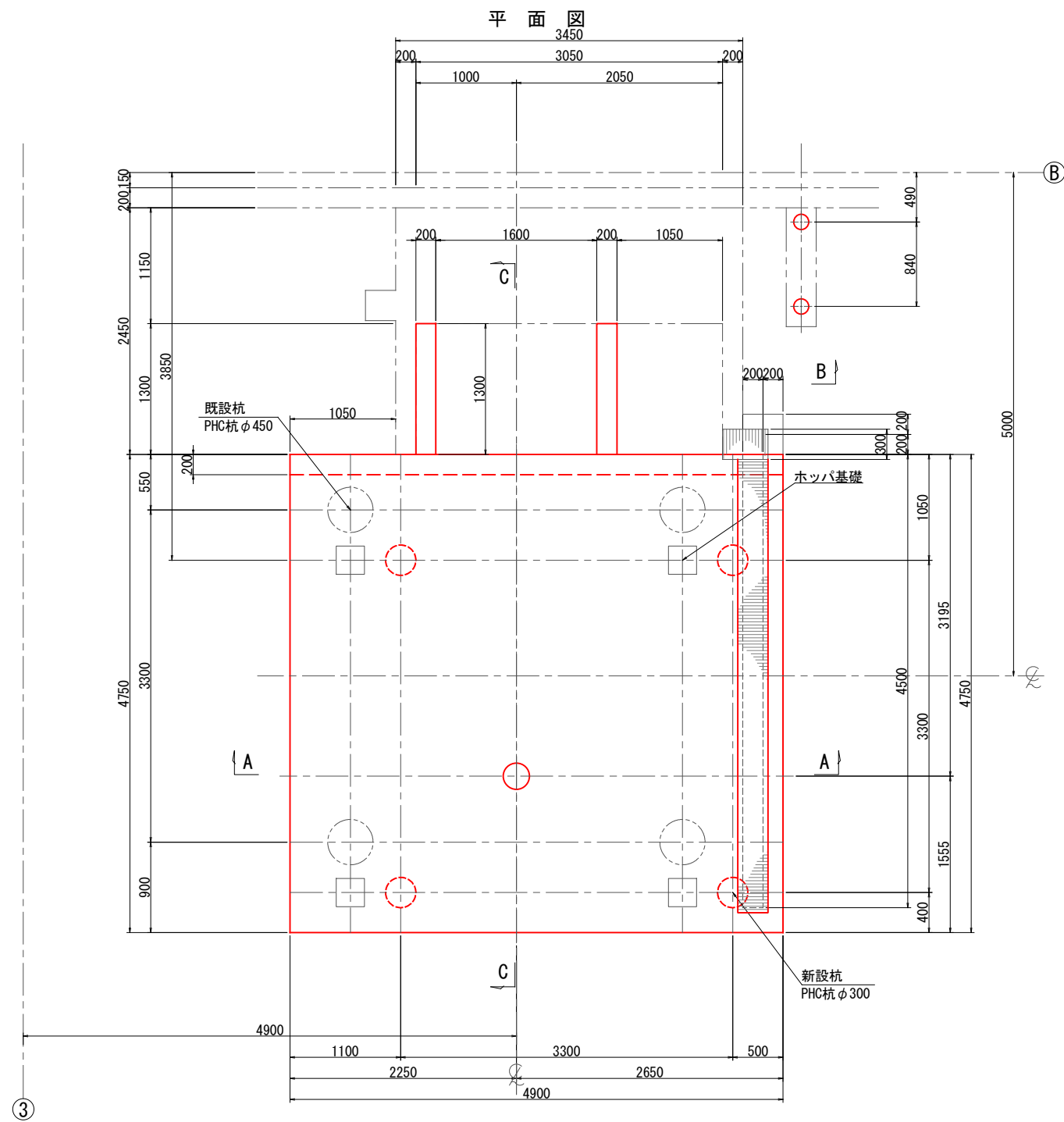


令和7年度 公共下水道事業（雨水）			
工事名	和田雨水排水ポンプ場除塵設備 （機械設備）更新工事（7-1）		
工事場所	三原市和田1丁目地内		
図面番号	PM-6	縮尺	NON
撤去フローシート			
三 原 市			

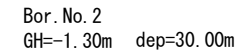


1 階 下 部 平 面 図

令和 7 年 度 公 共 下 水 道 事 業 (雨 水)			
工 事 名	和 田 雨 水 排 水 ポ ン プ 場 貯 水 槽 設 備 (機 械 設 備) 更 新 工 事 (7 - 1)		
工 事 場 所	三 原 市 和 田 1 丁 目 地 内		
図 面 番 号	PM-7	縮 尺	1 / 1 0 0
撤 去 平 面 図 (1)			
三 原 市			

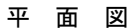


令和7年度 公共下水道事業（雨水）			
工事名	和田雨水排水ポンプ場除塵設備（機械設備）更新工事（7-1）		
工事場所	三原市和田1丁目地内		
図面番号	Do-1	縮尺	1/30
ホッパ基礎 構造図			
三 原 市			

$S=1/100$ 

鉄筋表

記号	径	長さ (mm)	本数	単位重量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質 量 (kg)	備 考
K 1	D 13	1 170	6	0.995	1.16	7	Γ
K 2	〃	960	6	〃	0.96	6	○
				D 13	13 kg		
				合計	13 kg		



杭リス

杭記号	杭種	杭径	上杭		中杭		下杭		総杭長	支持力	杭本数
			杭種	杭長	杭種	杭長	杭種	杭長			
○	PHC杭	φ 300	B種	7.0m	A種	12.0m	A種	12.0m	30.0m	667N/本	4本

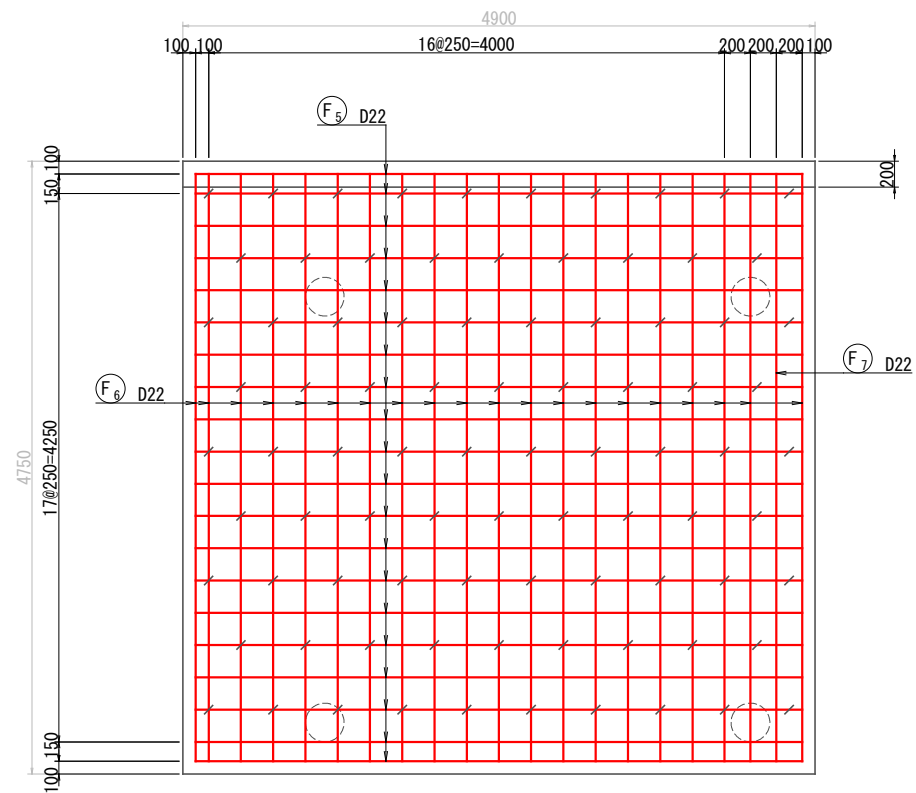
杭施工方法：プレボーリング工法

注記：設計時からホッパー荷重等の仕様変更が生じた場合は、杭基礎設計の再照査を実施すること。

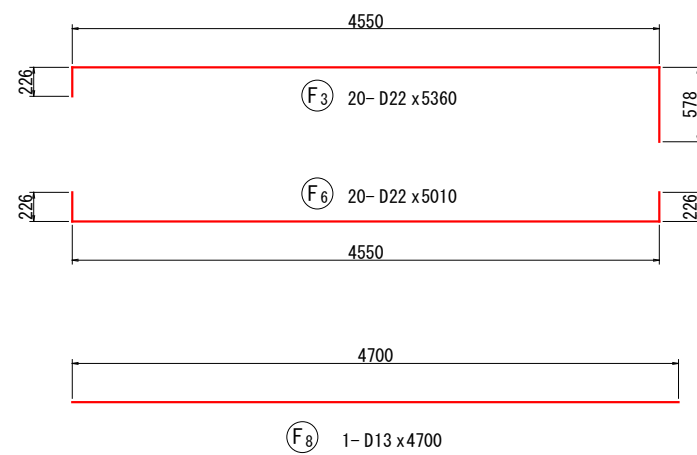
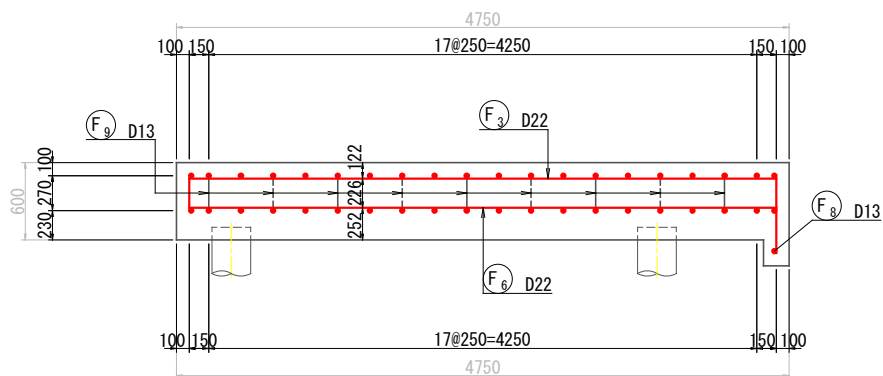
令和7年度 公共下水道事業（雨水）			
工事名	和田雨水排水ポンプ場除塵設備 （機械設備）更新工事（7-1）		
工事場所	三原市和田1丁目地内		
図面番号	Do-2	縮尺	1/100
ホッパ基礎 杭伏せ図			
三 原 市			

$$S=1/30$$

B-B 平面図(下面)



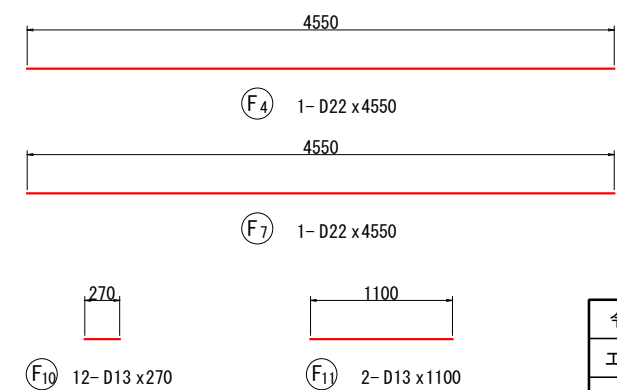
D-D 断面图



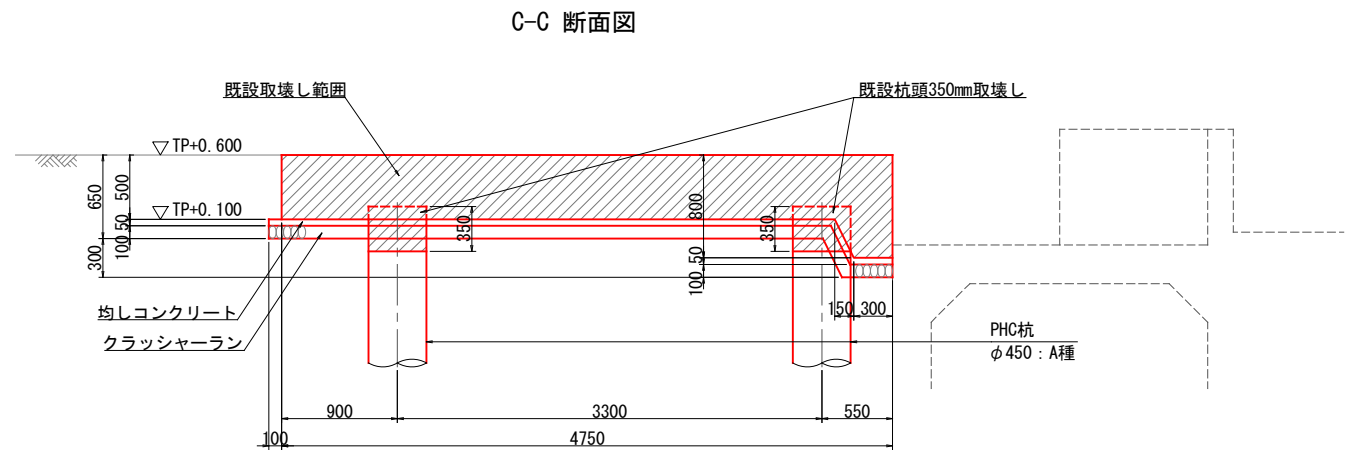
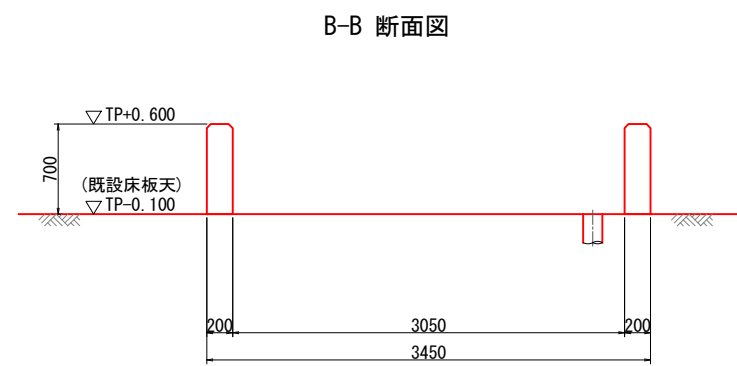
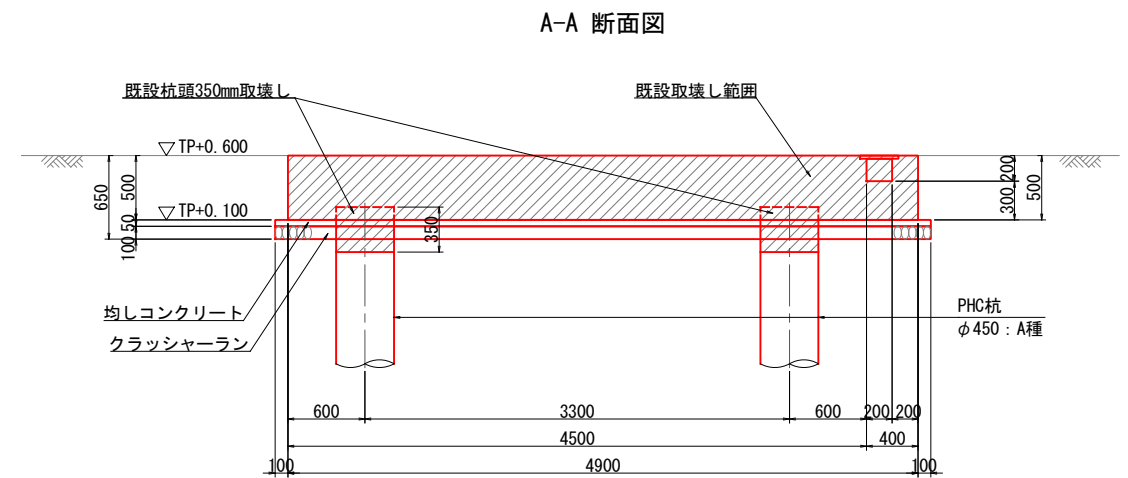
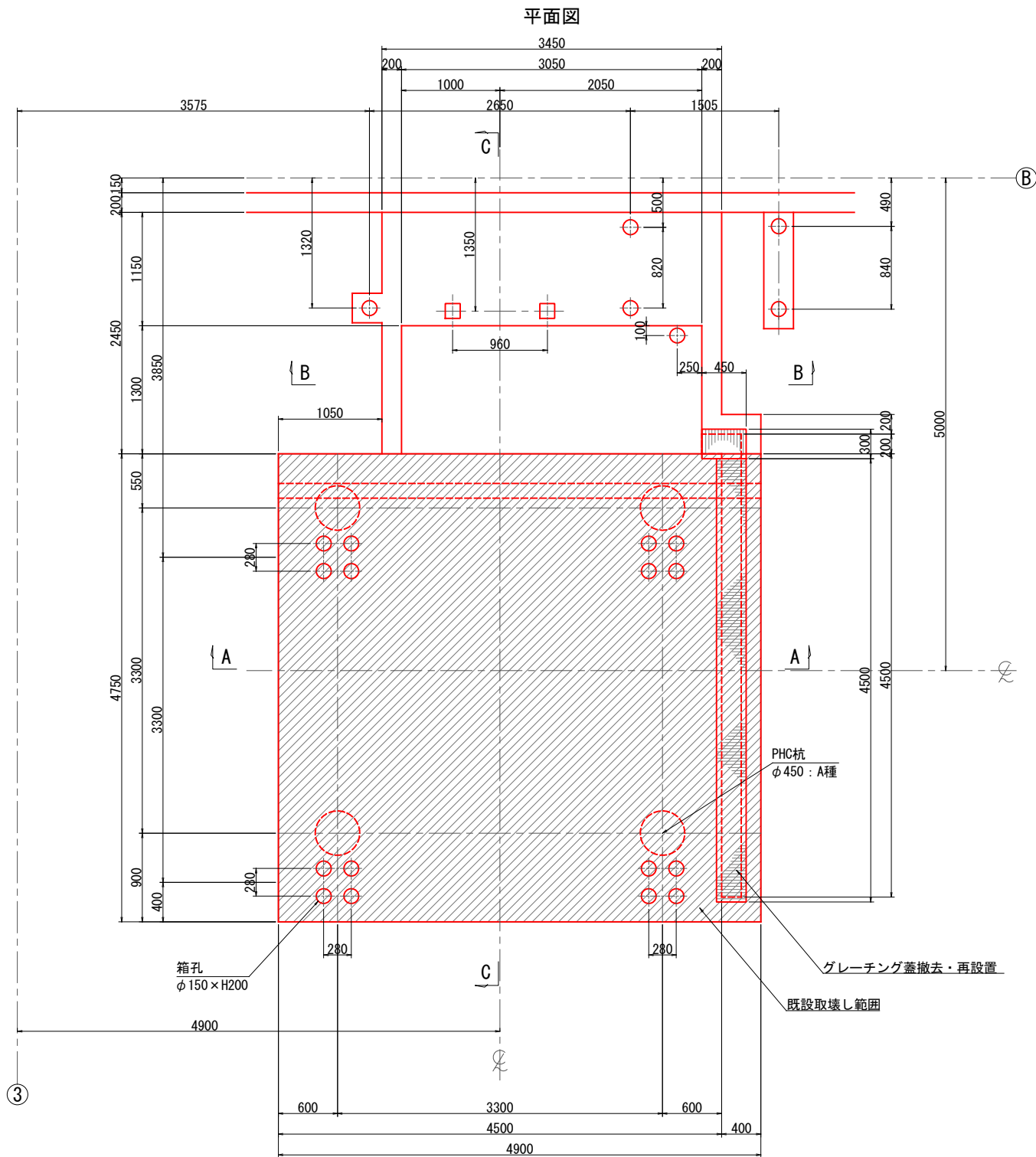
記号	径	長さ (mm)	本数	単位重量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質 量 (kg)	備 考
F 1	D 22	4 840	20	3. 04	14. 71	294	□
F 2	〃	1 090	20	〃	3. 31	66	—
F 3	〃	5 360	20	〃	16. 29	326	□
F 4	〃	4 550	1	〃	13. 83	14	—
F 5	〃	5 240	20	〃	15. 93	319	□
F 6	〃	5 010	20	〃	15. 23	305	□
F 7	〃	4 550	1	〃	13. 83	14	—
F 8	D 13	4 700	1	0. 995	4. 68	5	—
F 9	〃	470	77	〃	0. 47	36	□
F 10	〃	270	12	〃	0. 27	3	—後施工ノリ
F 11	〃	1 100	2	〃	1. 09	2	—
				D 22	1 338	kg	
				D 13	46	kg	
				合計	1 384	kg	

Diagram of a two-bay portal frame structure. The frame has two bays, each 1600 mm wide. The total width is 3200 mm. The height of the frame is 1300 mm. The columns are 200 mm wide, and the beams are 100 mm high. The frame is subjected to a horizontal load F_{11} at the top right corner. The frame is supported by fixed supports at the base. The diagram shows the frame with dimensions and a horizontal load F_{11} at the top right corner.

Technical drawing of a 2x2 grid of square columns. The drawing shows the top and side views. The top view indicates a center-to-center distance of 1600mm between columns. Each column has a width of 200mm and a height of 150mm. The side view shows the column's profile with a 150mm height and a 200mm width. A note specifies the hole size as $\phi 23 \times 205$ and the material as エポキシ樹脂注入材 (Epoxy resin injection material).

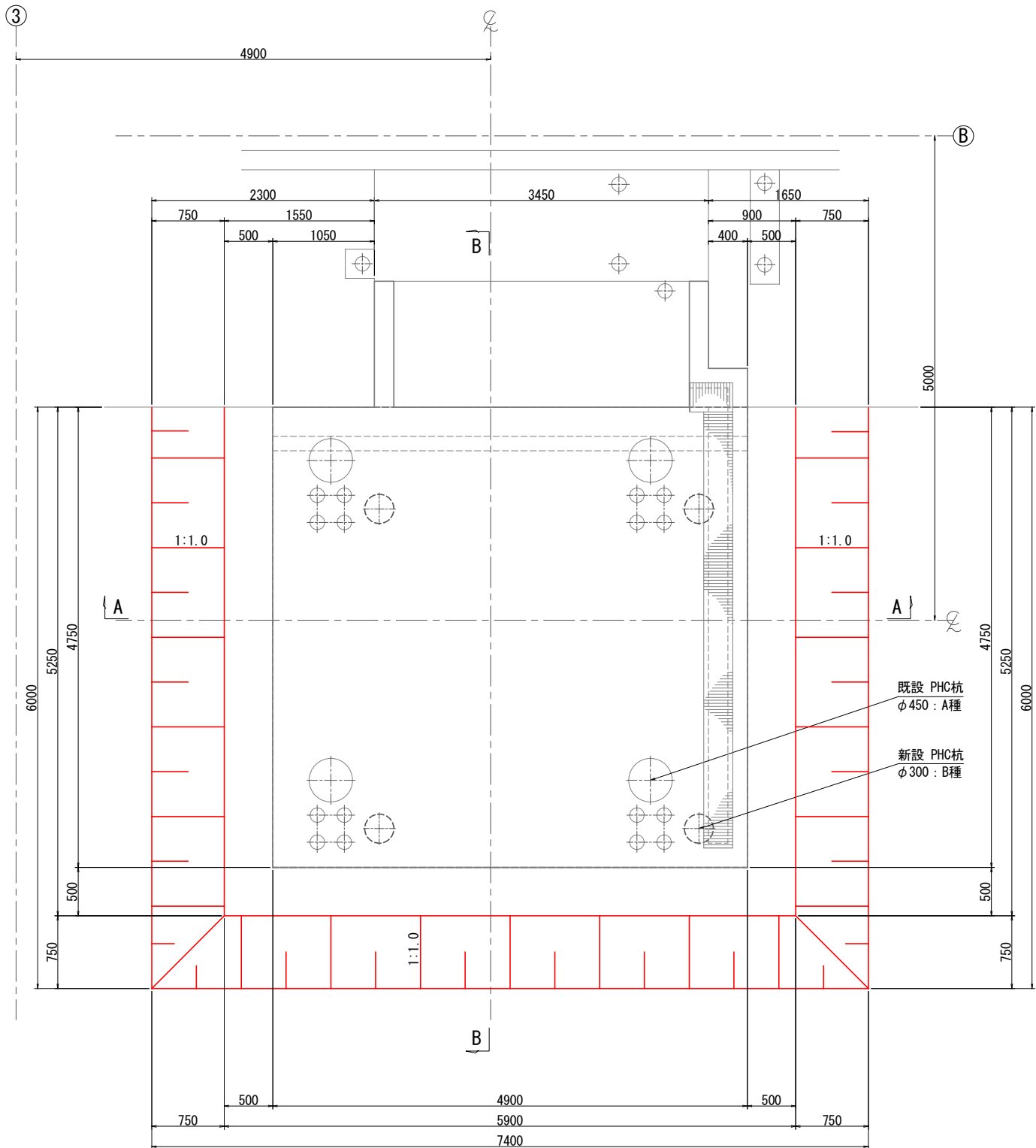


令和7年度 公共下水道事業（雨水）			
工事名	和田雨水排水ポンプ除菌設備 （攪拌設備）更新工事（7-1）		
工事場所	三原市和田1丁目地内		
図面番号	Do-3	縮尺	1/30
ホツパ基礎 配筋図			
三 原 市			

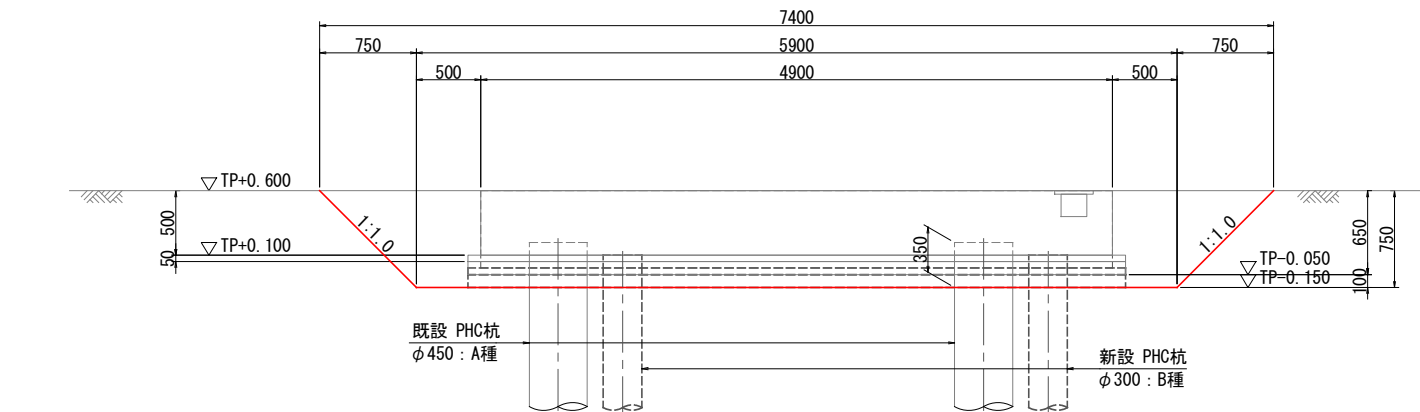


令和7年度	公共下水道事業（雨水）		
工事名	和田雨水排水ポンプ場除塵設備（機械設備）更新工事（7-1）		
工事場所	三原市和田1丁目地内		
図面番号	Do-4	縮尺	1/30
ホッパ基礎 既設取壊し図			
三原市			

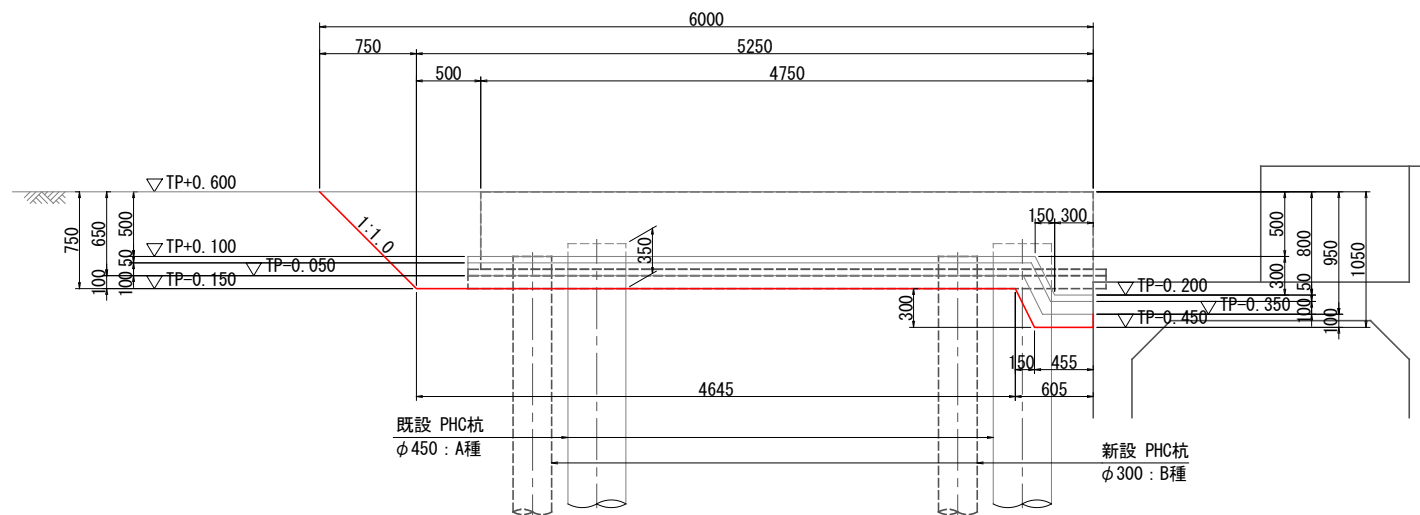
平面図



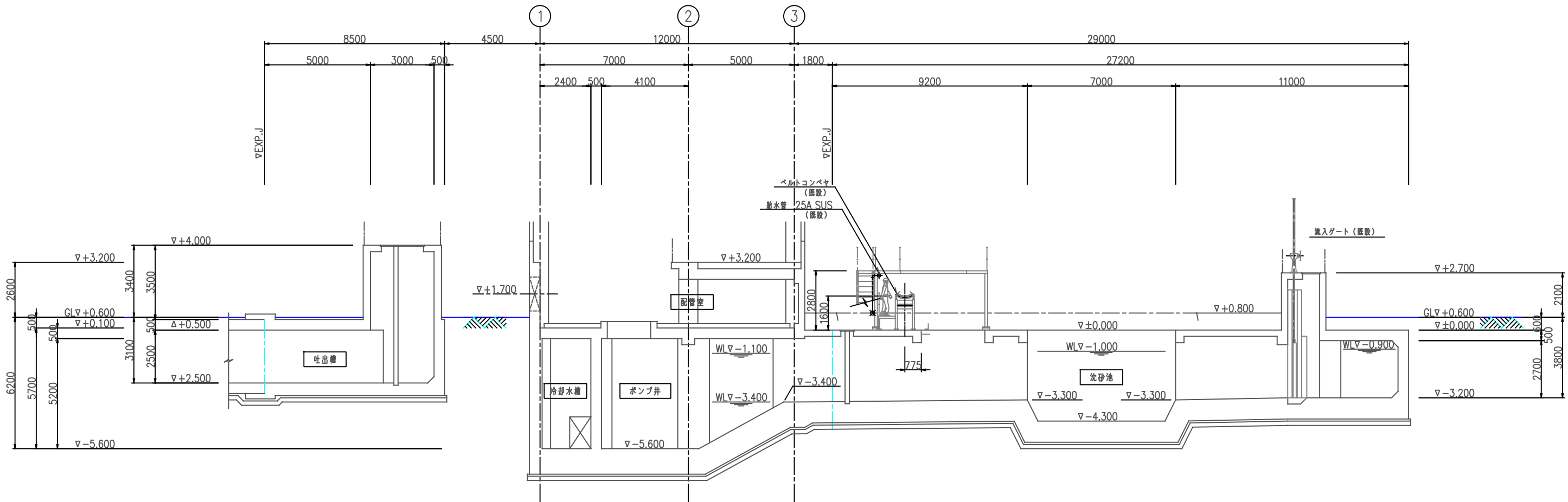
A-A 断面図



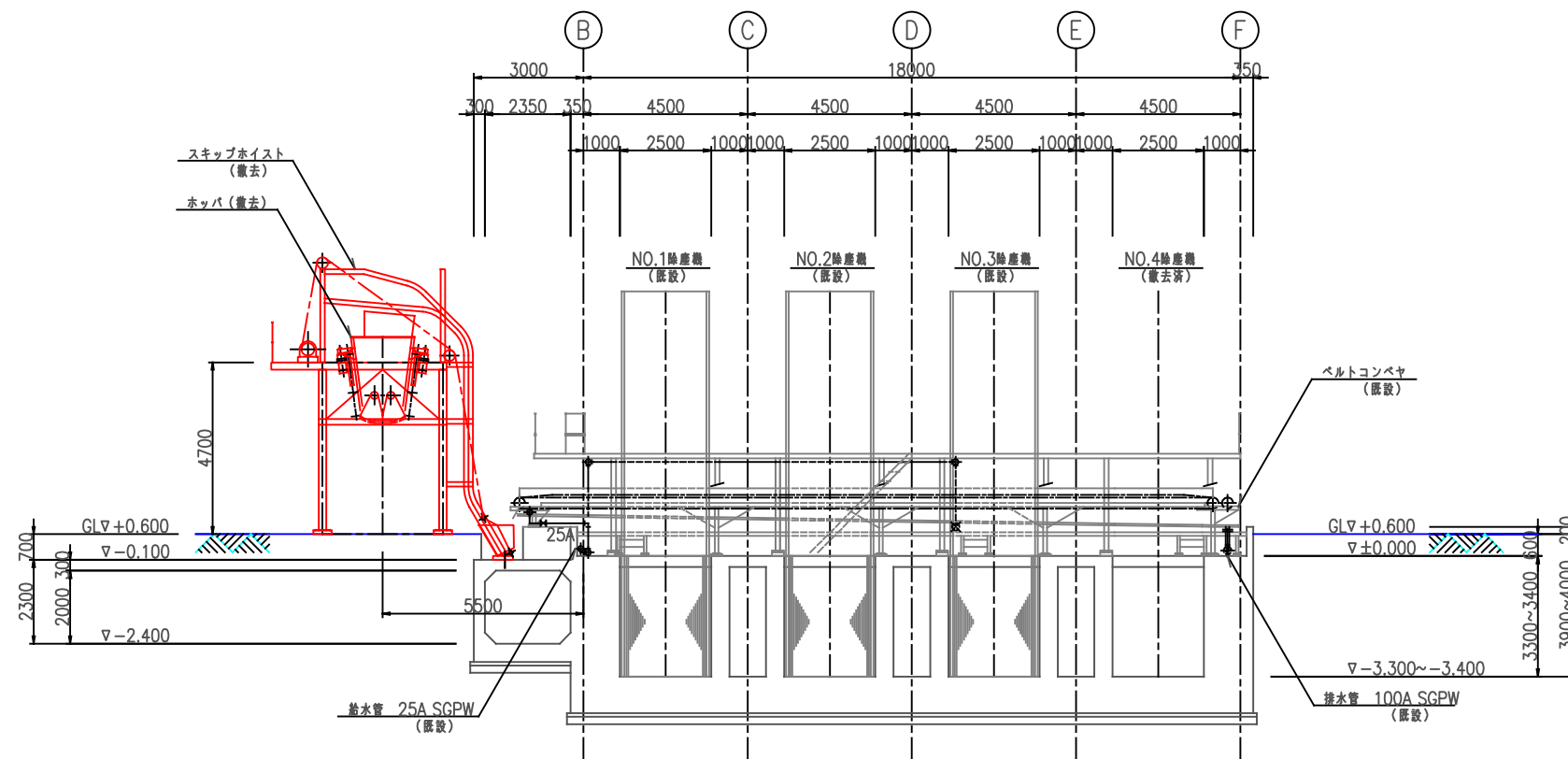
B-B 断面図



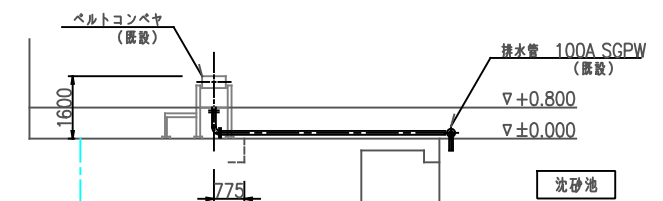
令和7年度 公共下水道事業（雨水）			
工事名	和田雨水排水ポンプ場除塵設備 （機械設備）更新工事（7-1）		
工事場所	三原市和田1丁目地内		
図面番号	Do-5	縮尺	1/30
ホッパ基礎 土工図			
三 原 市			



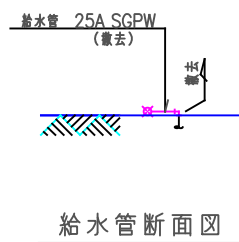
A-A 断面図



B-B 断面図



A'-A' 断面図



給水管断面図

令和7年度 公共下水道事業（雨水）			
工事名	和田雨水排水ポンプ場除塵設備（機械設備）更新工事（7-1）		
工事場所	三原市和田1丁目地内		
図面番号	PM-9	縮尺	1/100
撤去断面図			
三原市			

参 考 資 料

－和田雨水排水ポンプ場除塵設備（機械設備）更新工事（7-1）－

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 59 三原市 00-07.06.01(0)		凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
諸経費体系	F 下水道機械設備		
	当世代	前世代	
復興補正区分 前払金支出割合区分 週休補正区分 契約保証区分	00 補正なし 00 補正無し 09 閉所型・月単位 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として，労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
設備工（機器費）					Y1800F レベル1
ポンプ設備工	1	式			Y28003F レベル2
ポンプ設備工	1	式			Y280031F レベル3
設計技術費対象	1	式			Y48003101F レベル4
機器費	1	式			V0001 00
	1	式			単第0 -0001 表
* * 機器費 * *					
設備工	1	式			Y1900F レベル1
水処理設備工	1	式			Y29001F レベル2

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
輸送費	1	式			Y390011F レベル3
運搬費	1	式			YZ901001001レベル4
仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬 運搬距離 70km 製品長 12m以内	1	式			S1000007 00 単第0 -0002 表
材料費	1	式			Y390012F レベル3
直接材料費	1	式			Y49001201F レベル4
材料費	1	式			V0003 00 単第0 -0005 表
補助材料費	1	式			Y49001202F レベル4
補助材料費(率分)	1	式			SY49202F 00 機械設備 単第0 -0007 表
労務費	1	式			Y390013F レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
一般労務費	1	式			Y49001301F レベル4
一般労務費	1	式			V0004 00 単第0 -0008 表
機械設備据付労務費	1	式			Y49001302F レベル4
機械設備据付労務費	1	式			V0005 00 単第0 -0009 表
複合工費	1	式			Y390014F レベル3
複合工	1	式			Y49001402F レベル4
複合工	1	式			V0006 00 単第0 -0010 表
直接経費	1	式			Y390015F レベル3
総合試運転費	1	式			Y49001504F レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
総合試運転費（率分） ポンプ設備工 ポンプ場施設	1	式			SY49504F 00 機械設備 単第0 -0016 表
仮設費	1	式			Y390016F レベル3
仮設費（率分） ポンプ設備工	1	式			SY396F 00 機械設備 単第0 -0017 表
* * 直接工事費 * *					
準備費					Z0002
準備費	1	式			YZ902 レベル2
準備費	1	式			YZ902001 レベル3
準備費	1	式			YZ902001001 レベル4
運搬処分費	1	式			V0007 00 単第0 -0018 表

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
共通仮設費率分					Z0010
計算情報..... 対象額..... 率.....					対象額合計...
* * 共通仮設費 * *					
* * 純工事費 * *					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					対象額合計...
据付間接費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 据付工事原価 * *					
設計技術費 計算情報..... 対象額..... 率.....					対象額合計...
* * 工事原価 * *					

本工事費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
一般管理費率分額 計算情報..... 対象額..... 率.....		機器補正率...			前払補正率... 対象額合計...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
* * 一般管理費計 * *					
* * 工事価格計 * *					
消費税相当額 計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 請負工事費計 * *					

施工単価表

頁0 -0008

機器費

V0001

單第0 -0001 表

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0009

仮設材等(鋼矢板, H鋼, 覆工板, 敷鉄板等)運搬	S1000007
運搬距離 70km	製品長 12m以内

單第0 -0002 表

1 式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0010

基本運賃
運搬距離 70km

S1000009

單第0 -0003 表

製品長 12m以内 運搬質量 21.7t

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0011

積込み,取卸しに要する費用

S1000009

單第0 -0004 表

式 当り

[illegible]

施工単価表

材料費

V0003

単第0 -0005 表

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
SUS304TP Sch20S 25A	1	式			単第0-0006 表
散水栓 (CAC)	1	個			
溝鋼材 H200 × 200 × 8/12	2,000	kg			
溝鋼材 [125 × 65 × 6	651	kg			
等辺山形鋼 L75 × 75 × 6	333	kg			
鋼板 PL9	25.4	kg			
鋼板 PL6	84.1	kg			
FB50 × 6 SS400	104	kg			
縞鋼板 chPL4.5	616	kg			
鋼管 25ASGP	37.6	m			
鋼管 32ASGP	30.5	m			
*** 単位当たり ***	1	式			

施工単価表

頁0 -0013

SUS304TP Sch20S
25A

V0009

單第0 -0006 表

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0014

補助材料費（率分）

SY49202F

單第0 -0007 表

式 当り

機械設備

[illegible]

施工単価表

頁0 -0015

一般勞務費

V0004

單第0 -0008 表

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0016

機械設備据付労務費

V0005

單第0 -0009 表

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0017

複合工

V0006

單第0 -0010 表

1 式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0018

コンクリート

SPK24040153

単第0 -0011 表

小型構造物 18-8-40BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 42.01% 材料構成比: 57.99% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 33,825.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	22.75%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.31%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	7.89%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	57.99%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=2 小型構造物 C=2 18-8-40BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

施工単価表

頁0 -0019

コンクリートはつり
平均はつり厚3cm以下

SPK24040116

単第0 -0012 表

1
標準単価： m2 当り
5,008.50000

機械構成比： 1.53% 労務構成比： 95.12% 材料構成比： 3.35% 市場単価構成比： 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>空気圧縮機(エンジンコンプレッサ) 吐出量5m3/min 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.49%		空気圧縮機 [可搬式・エンジン駆動・スクリュ型] 5m3/min		KTPC00030 KTPT00030
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	37.89%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	31.97%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	22.50%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	3.26%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001

施工単価表

頁0 -0020

コンクリートはつり

SPK24040116

單第0 -0012 表

平均はつり厚3cm以下

1

m2 当り

機械構成比: 1.53%

勞務構成比：

95.12%

材料構成比:

3.35%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

5,008.50000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0021

モルタル上塗り
20mm

SG1E0044003

單第0 -0013 表

1 m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0022

モルタル練

SPK24040154

単第0 -0014 表

普通
機械構成比: 0.00% 労務構成比: 83.30% 材料構成比: 16.70% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1 m3 当り 94,888.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	55.43%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	27.71%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
セメント(袋) 普通ポルトランド 25kg/袋	11.28%		セメント 高炉B 25kg袋入		TTPCD0094 TTPT00063
コンクリート用砂 細目(洗い)	5.42%		砂 細目(洗い)		TTPC00066 TTPT00066
積算単価			積算単価		EP001
A=2 普通			B=1 -(全ての費用)		

施工単価表

型枠
一般型枠
機械構成比: 0.00%

SPK24040155
小型構造物
労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0015 表

1
標準単価:

m2 当り
8,483.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	43.77%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	31.27%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.92%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=2 小型構造物		

施工単価表

頁0 -0024

総合試運転費（率分）

SY49504F

單第0 -0016 表

ポンプ設備工

ポンプ場施設

機械設備

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0025

仮設費（率分）
ポンプ設備工

SY396F

單第0 -0017 表

式 当り

機械設備

[illegible]

施工単価表

頁0 -0026

運搬処分費

V0007

單第0 -0018 表

1 式 当り

[illegible]

施工単価表

殻運搬
Co(無筋)構造物とりこわし
機械構成比: 41.69% 労務構成比: 43.88% 材料構成比: 14.43% 市場単価構成比: 0.00%

SPK24040151
DID区間有り 運搬距離8.0km以下(5.7km超)

単第0 -0019 表
1
標準単価: 1,684.90000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	41.69%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	43.88%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.43%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=34 運搬距離8.0km以下(5.7km超)		

施工単価表

頁0 -0028

現場発生品及び支給品運搬

SQ601

單第0 -0020 表

クレーン装置付トラック 4 t 積・2・9 t 片道運搬距離 1.7km

回 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0029

機-01_トラック(クレーン装置付)運転
ベーストラック4~4.5t積 吊能力2.9t

S9056

單第0 -0021 表

時間 当り

[illegible]

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 59 三原市 00-07.06.01(0)		凡例 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 I C T補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	32 下水道工事 (3) 02 市街地(DID補正) 00 補正なし 09 閉所型・月単位 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
処理場・ポンプ場					Y1106 レベル1
本体作業土工	1	式			Y110604 レベル2
掘削工	1	式			Y11060401 レベル3
掘削(土砂)	1	式			Y1106040101 レベル4
床掘り 土砂 上記以外(小規模)	15	m3			SPK24040015 00
埋戻工	15	m3			単第0 -0001 表 Y11060402 レベル3
埋戻し(流用土)	1	式			Y1106040201 レベル4
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)	13	m3			SPK24040020 00
	13	m3			単第0 -0002 表

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
残土処理工					Y11060405 レベル3
	1	式			
残土処理					Y1106040501 レベル4
	6	m3			
発生土運搬工(10t積級,機械積込み)					SG1E0003001 00
	8	m3			単第0 -0003 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
残土受入費 砂質土・礫質土					F00021 00
	6	m3			
基礎工					Y110610 レベル2
	1	式			
既製杭工					Y11061006 レベル3
	1	式			
既製コンクリート杭					Y1106100601 レベル4
	4	本			
杭打工 PHC杭 φ300×60mm・既製杭					V0002 00
	4	本			単第0 -0005 表

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
杭頭処理					V0003 00
	1	式			単第0 -0006 表
基礎工					Y11061008 レベル3
	1	式			
基礎材					Y1106100803 レベル4
	25	m2			
基礎砕石 砕石の厚さ17.5cmを超え20.0cm以下 RC-40					SPK24040034 00
	25	m2			単第0 -0010 表
均しコンクリート					Y1106100804 レベル4
	1	m3			
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設					SPK24040153 00
	1	m3			単第0 -0011 表
コンクリート					Y1106100805 レベル4
	14	m3			
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB バックホウ(クレーン機能付)打設					SPK24040153 00
	14	m3			単第0 -0012 表
型枠					Y1106100806 レベル4
	17	m2			

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
型枠 一般型枠 均しコンクリート	1	m2			SPK24040155 00 単第0 -0013 表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	16	m2			SPK24040155 00 単第0 -0008 表
鉄筋	1.384	t			Y1106100807レベル4
鉄筋 SD345 D13	0.046	t			SPK24040334 00 単第0 -0009 表
鉄筋 SD345 D22	1.338	t			SPK24040334 00 単第0 -0014 表
後施工アンカー D13	12	本			Y1106100807レベル4
後施工アンカー	12	本			V0001 00 単第0 -0015 表
構造物撤去工	1	式			Y110614 レベル2
構造物取壊し工	1	式			Y11061402 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート構造物取壊し	13	m3			Y1106140201レベル4
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工	1	m3			SDT00031 00 単第0 -0017 表
構造物とりこわし工(鉄筋構造物) 機械施工	12	m3			SDT00033 00 単第0 -0018 表
殻運搬処理	13	m3			Y1106140209レベル4
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離8.0km以下(5.7km超)	1	m3			SPK24040151 00 単第0 -0019 表
殻運搬 Co(鉄筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離10.9km以下(8.0km超)	12	m3			SPK24040151 00 単第0 -0020 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
Coガラ処分費 無筋	3	t			F0003 00
Coガラ処分費 鉄筋	29	t			F00031 00

本工事費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
* * 直接工事費 * *					
#0020計=支給品等(材料),無償貸付					
運搬費					Z0004
運搬費					YZZ04 レベル2
	1	式			
運搬費					YZZ04001 レベル3
	1	式			
重建設機械分解組立輸送費					YZZ04001003レベル4
	2	回			
重建設機械分解組立輸送 クローラクレーン系 35t吊超え80t吊以下					S1000017 00
	1	回			単第0 -0021 表
重建設機械分解組立輸送 クローラ式杭打機 20t以上60t以下					S1000017 00
	1	回			単第0 -0022 表
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					

本工事費 内訳表

頁0 -0008

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
* * 共通仮設費計 * *					
* * 純工事費 * *					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 工事原価 * *					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
* * 工事価格 * *					
* * 消費税相当額 * *					
計算情報..... 対象額..... 率.....					

本工事費 内訳表

頁0 -0009

[illegible]

施工単価表

頁0 -0010

床掘り
土砂 上記以外(小規模)
機械構成比: 19.87% 労務構成比: 72.99% 材料構成比: 7.14% 市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0001 表

1
標準単価: m3 当り
2,170.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックハウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	19.87%		バックハウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
運転手(特殊)	39.96%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	33.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	7.14%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=1 -(全ての費用)			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

埋戻し
土砂

SPK24040020
上記以外(小規模)

単第0 -0002 表

1
標準単価:

m3 当り
3,871.10000

機械構成比: 9.48%

労務構成比: 86.47%

材料構成比: 4.05%

市場単価構成比: 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	8.90%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
タンパ及びランマ ランマ 質量60～80kg	0.58%		タンパ及びランマ タンパ及びランマ 質量60～80kg		MTPC00048 MTPT00048
普通作業員	49.42%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	19.17%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	17.88%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	3.20%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.85%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=5 D=1 上記以外(小規模) -(全ての費用)			B=1 土砂		

施工単価表

頁0 -0012

埋戻し

土砂

機械構成比: 9.48%

勞務構成比: 86.47%

上記以外(小規模)

材料構成比: 4.05%

市場単価構成比: 0.00%

單第0 -0002 表

1
標準単価：

m3 当り
3,871.10000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0013

発生土運搬工(10t積級,機械積込み)

SG1E0003001

單第0 -0003 表

1 m3 当り

[illegible]

施工単価表

ダンプトラック運転
011 オンロード ディーゼル

SM2203010

単第0 -0004 表

1

日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(一般)	1.00	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	58.00	L			
ダンプトラック オンロード・ディーゼル 10t積級	1.29	供用日			
タイヤ損耗費 ダンプトラック 10t (良)	1.29	供用日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 011 オンロード ディーゼル C=1 運転労務数量(人/日) E=1.29 機械損料数量(供用日/日)			B=5 10t積級 D=58 燃料消費量(L/日) F=1 路面状況:良好		

施工単価表

頁0 -0015

杭打工
PHC杭

V0002
φ 300 × 60mm ・ 既製杭

単第0 -0005 表

10

本 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.05	人			
特殊作業員	2.05	人			
とび工	2.05	人			
普通作業員	2.05	人			
既製杭 PHCパイル 300 × 60mm × 7m(A種)	10	本			
既製杭 PHCパイル 300 × 60mm × 11m(A種)	10	本			
既製杭 PHCパイル 300 × 60mm × 12m(A種)	10	本			
クローラクレーン 油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排1 50 ~ 55t吊	9.84	時間			
クローラ式アースオーガ アースオーガ中掘機・直結三点支持式 出力45kw杭径φ 400 ~ 1000mmリーダ21 ~ 24m	7.63	時間			
バックホウ(クローラ型) 標準型・排1 山積0.45/平積0.35m3	7.51	時間			
雑材料	26.25	%			#01
*** 合計 ***	10	本			

施工単価表

頁0 -0016

杭打工
PHC杭

V0002
φ 300 × 60mm ・ 既製杭

單第0 -0005 表

10

本 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0017

杭頭処理

V0003

單第0 -0006 表

1 式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0018

コンクリート

SPK24040153

単第0 -0007 表

小型構造物 24-12-25(20)BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 42.01% 材料構成比: 57.99% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 33,825.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	22.75%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.31%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	7.89%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度24,スランブ12,粗骨材20(25) W/C(55%),種別(高炉)	57.99%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00343 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=2 小型構造物 C=1 24-12-25(20)BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

施工単価表

型枠
一般型枠
機械構成比: 0.00%

SPK24040155
鉄筋・無筋構造物
労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0008 表

1
標準単価:

m2 当り
9,352.20000

代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
型わく工		46.19%		型わく工			RTPC00010 RTPT00010
普通作業員		25.55%		普通作業員			RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役		9.57%		土木一般世話役			RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)				その他(労務)			ER009
積算単価				積算単価			EP001
A=1 C=1	一般型枠 -(全ての費用)			B=1	鉄筋・無筋構造物		

施工単価表

鉄筋
SD345 D13

SPK24040334

単第0 -0009 表

1
t 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 67.90%

材料構成比: 32.10%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 390,730.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
鉄筋工	38.61%		鉄筋工		RTPC00018 RTPT00018
普通作業員	18.35%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.61%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
異形棒鋼<JISG3112> SD345,D13 単位質量0.995kg/m	32.10%		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13		TTPC00001 TTPT00001
積算単価			積算単価		EP001
A=4 SD345 D13			B=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0021

基礎碎石

SPK24040034

單第0 -0010 表

碎石の厚さ17.5cmを超え20.0cm以下

RC-40

機械構成比: 4.99% 勞務構成比:

69.17%

材料構成比: 25.84%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：1

m2 当り

1,350.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3,2011,2014	4.96%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	33.14%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	14.04%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	13.23%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	8.28%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャー 40～0mm	21.33%		再生クラッシャー RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	4.48%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0022

基礎碎石

SPK24040034

單第0 -0010 表

碎石の厚さ17.5cmを超え20.0cm以下

RC-40

機械構成比: 4.99% 勞務構成比: 69.17%

材料構成比: 25.84%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：
1

m2 当り
1,350.10000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0023

コンクリート

SPK24040153

単第0 -0011 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.79%

労務構成比:

35.68%

材料構成比:

60.53%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

33,754.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	3.58%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	10.28%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	9.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.10%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.64%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	58.70%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.73%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0024

コンクリート

SPK24040153

单第0 -0011 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.79%

勞務構成比：

35.68%

材料構成比: 60.53%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

33,754.00000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0025

コンクリート

SPK24040153

単第0 -0012 表

無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.79%

労務構成比:

35.68%

材料構成比:

60.53%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

33,754.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	3.58%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	10.28%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	9.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.10%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.64%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度24,スランプ12,粗骨材20(25) W/C(55%),種別(高炉)	58.70%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00343 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.73%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0026

コンクリート

SPK24040153

單第0 -0012 表

無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.79% 勞務構成比:

35.68%

材料構成比: 60.53%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

33,754.00000

[illegible]

施工単価表

型枠
一般型枠
機械構成比: 0.00%

SPK24040155
均しコンクリート

単第0 -0013 表

1
標準単価:

m2 当り
4,714.10000

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
型わく工		58.35%		型わく工			RTPC00010 RTPT00010
普通作業員		20.27%		普通作業員			RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役		6.13%		土木一般世話役			RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)				その他(労務)			ER009
積算単価				積算単価			EP001
A=1 C=1	一般型枠 -(全ての費用)			B=5	均しコンクリート		

施工単価表

頁0 -0028

鉄筋
SD345 D22

SPK24040334

単第0 -0014 表

1
t 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 67.90%

材料構成比: 32.10%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 390,730.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
鉄筋工	38.61%		鉄筋工		RTPC00018 RTPT00018
普通作業員	18.35%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.61%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
異形棒鋼<JISG3112> SD345,D22 単位質量3.04kg/m	32.10%		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13		TTPCD0448 TTPT00001
積算単価			積算単価		EP001
A=8 SD345 D22			B=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0029

後施工アンカー

V0001

單第0 -0015 表

1 本 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0030

コンクリート削孔(電動ハンマドリル)

SPK24040118

単第0 -0016 表

削孔深さ200mm以上400mm以下

1

孔 当り

機械構成比: 2.10% 労務構成比: 95.73% 材料構成比: 2.17% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 955.04000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量2kVA 低騒音	0.99%		<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量2kVA 低騒音		KTPC00041 KTPT00041
その他 電動ハンマドリル 穴あけ能力 φ 38 ~ 40mm	0.69%		電動ハンマドリル 穴あけ能力 φ 38 ~ 40mm		MTPC00146 MTPT00146
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	44.77%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	18.51%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	13.31%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.74%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0031

コンクリート削孔(電動ハンマドリル)

SPK24040118

單第0 -0016 表

削孔深さ200mm以上400mm以下

1

孔 当り

機械構成比: 2.10% 勞務構成比: 95.73%

材料構成比: 2.17%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価： 955.04000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0032

構造物とりこわし工(無筋構造物)

SDT00031

單第0 -0017 表

1 m3 当り

機械施工

[illegible]

施工単価表

頁0 -0033

構造物とりこわし工(鉄筋構造物)

SDT00033

單第0 -0018 表

1 m3 当り

機械施工

[illegible]

施工単価表

頁0 -0034

殻運搬
Co(無筋)構造物とりこわし
機械構成比: 41.69% 労務構成比: 43.88% 材料構成比: 14.43% 市場単価構成比: 0.00%

SPK24040151
DID区間無し 運搬距離8.0km以下(5.7km超)

単第0 -0019 表
1
標準単価: 1,480.70000

m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	41.69%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	43.88%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.43%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=34 運搬距離8.0km以下(5.7km超)		

施工単価表

殻運搬
Co(鉄筋)構造物とりこわし
機械構成比: 41.69% 労務構成比: 43.88% 材料構成比: 14.43% 市場単価構成比: 0.00%

SPK24040151
DID区間有り 運搬距離10.9km以下(8.0km超)

単第0 -0020 表
1
標準単価: m3 当り
2,450.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	41.69%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	43.88%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.43%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 Co(鉄筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=44 運搬距離10.9km以下(8.0km超)		

施工単価表

頁0 -0036

重建設機械分解組立輸送 クローラクレーン系

S1000017

35t吊超え80t吊以下

單第0 -0021 表

回 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0037

重建設機械分解組立輸送 クローラ式杭打機

S1000017

單第0 -0022 表

20t以上60t以下

回 当り

[illegible]

数 量 総 括 表

－和田雨水排水ポンプ場除塵設備（機械設備）更新工事（7-1）－

総 括 表
第3期

1) 勞務費

機械設備（第3期）

[illegible]

2) 直接材料費

[illegible]

3) 複合工数量表

[illegible]

更 新 工 事

第3期

一般労務員・工場派遣労務員集計表

(設備名) 機械設備 (第3期) (更新)

	普通作業員 (人)	配管工 (人)	設備機械工 (人)	溶接工 (人)	はつり工 (人)	電 工 (人)	技術者 (人)	機械設備据付工 (人)	備 考
機 器 等 据 付 工	16.20		19.60					146.4	
鋳 鉄 管 据 付 工									
鋼 管 据 付 工									
小 配 管 据 付 工		0.18							
複 合 工									
試 運 転 費									
計	16.2	0.18	19.6					146.4	
設 計 数 量	16人	1人	19人					146人	

機 器 等 据 付 工

X: 1台当り質量(t)

X' : 1槽当り必要空気量(m³/min)

(設備名) 機械設備 (第3期) (更新)

機 器 名	数量	単位重量 (TON)	類別	歩 掛		据付工		その他据付工			輸送費		備 考
				歩 掛 人/台	補正率 %	第1～ 第6類	第7類 (直材)	電工 (人)	機械設備据付工 (人)	普通作業員 (人)		市から (TON)	
除塵機	1	11.30	6	84.7		84.7						11.30	
スキップホイスト	1	6.00	6	45		45						6.00	
ホッパ	1	4.40	6	33		33						4.40	
鋼製加工品	1式	4.00	7	19.6			19.6						直材
計						162.7	19.6					21.7	
機械設備据付工 ×0.9						146.4	/	/	/	/	/	146.40	#####
普通作業員 ×0.1						16.2	/	/	/	/	/	16.20	####
設備機械工							19.6	/	/	/	/	19.6	####
電工						/	/	/	/	/	/		

[illegible]

小配管・塩ビ管据付工 (1/1)

(設備名) 機械設備 (第3期) (更新)

屋 内 配 管							屋 外 配 管							埋 設 配 管										
	口 径	設 計 数 量 m	配 管 工		普通作業員		口 径		口 径	設 計 数 量 m	配 管 工		普通作業員		口 径		口 径	設 計 数 量 m	配 管 工		普通作業員		口 径	
	mm			歩掛 (人/m)	人員 (人)	歩掛 (人/m)					人員 (人)	歩掛 (人/m)	人員 (人)	歩掛 (人/m)					人員 (人)	歩掛 (人/m)	人員 (人)	歩掛 (人/m)		人員 (人)
鋼管・小配管 SUS	15		0.22		(0.17*1.3=0.22)			15			0.13						15			0.07				15
	20		0.26		(0.20*1.3=0.26)			20			0.16						20			0.09				20
	25		0.31		(0.24*1.3=0.31)			25	0.99		0.19	0.18				25			0.11				25	
	32		0.37		(0.29*1.3=0.37)			32			0.23					32			0.12				32	
	40		0.45		(0.35*1.3=0.45)			40			0.28					40			0.15				40	
	50		0.54		(0.42*1.3=0.54)			50			0.33					50			0.19				50	
	65		0.68		(0.53*1.3=0.68)			65			0.42					65			0.21				65	
	80		0.81		(0.63*1.3=0.81)			80			0.50					80			0.24				80	
	100		1.01		(0.78*1.3=1.01)			100			0.62					100			0.35				100	
	125		1.24		(0.96*1.3=1.24)			125			0.76					125			0.45				125	
	150		1.48		(1.14*1.3=1.48)			150			0.91					150			0.54				150	
	200		1.95		(1.50*1.3=1.95)			200			1.20					200			0.75				200	
	250		2.41		(1.86*1.3=2.41)			250			1.48					250			1.00				250	
	300		2.88		(2.22*1.3=2.88)			300			1.77					300			1.27				300	
	350		3.35		(2.58*1.3=3.35)			350			2.20					350			1.50				350	
小計							小計				0.18					小計								
硬質塩化ビニル管	13		0.08					13			0.06					13			0.06					13
	16		0.08					16			0.06					16			0.06					16
	20		0.09					20			0.07					20			0.07					20
	25		0.11					25			0.08					25			0.08					25
	30		0.13					30			0.10					30			0.10					30
	40		0.11					40			0.12					40			0.11					40
	50		0.15					50			0.14					50			0.15					50
	65		0.19					65			0.17					65			0.19					65
	75		0.22					75			0.20					75			0.22					75
	100		0.28					100			0.25					100			0.28					100
	125		0.34					125			0.31					125			0.34					125
	150		0.41					150			0.36					150			0.41					150
	200		0.53					200			0.53					200			0.53					200
	250		0.66					250			0.66					250			0.66					250
	300		0.79					300			0.79					300			0.79					300
350		0.79					350			0.79					350			0.79					350	
小計							小計									小計								
合計							配 管 工		+		0.18		+		0.18		人		据付工合計				0.18 人	
							普通作業員												人					

弁 類 集 計 表 (1/1)

(設備名) 機械設備 (第3期) (更新)

[illegible]

小配管材料・据付集計表 (1/1)

(設備名) 機械設備 (第3期) (更新)

[illegible]

小 配 管 弁 類 材 料 数 量 計 算 書 (1/1)

(設備名) 機械設備 (第3期) (更新)

[illegible]

()

鋼製架台類及び塗装面積集計表 (1/1)

(設備名) 機械設備 (第3期) (更新)

[illegible]

鋼 製 架 台 計 算 書 (1/1)

(設備名) 機械設備 (第3期) (更新)

名 称			数量	略 図	算 出 式	合計数量	単位重量(kg/m・ kg/m2)	重量計(kg)
No.	1	ホッパ架台	1	別紙参照		40m	49.90	1996.000
K-1								

複 合 工 及 仮 設 集 計 表 (1/1)

(設備名) 機械設備 (第3期) (更新)

[illegible]

(設備名) 機械設備 (第3期) (更新)

No.	1	名 称	除塵機基礎(1)	数量	1
		コンクリート工	$0.1 \times 2.5 \times 0.08$ =0.02 0.020×1	無筋 $\sigma = 180$ 0.02 m³	は つ り 工
		モルタル仕上	$0.1 \times 0.2 \times 2.5 + 2.5 \times 0.08 + (0.1 \times 2 + 2.5) \times 0.05$ =0.385 0.385×1	厚さ配合 0.385 m²	型 枠 工
		モルタル充填			ガラ処分
		鉄筋工			
				kg	
No.	2	名 称	除塵機基礎(2)	数量	1
		コンクリート工	$0.3 \times 0.3 \times 0.2 \times 6 + 0.2 \times 0.2 \times 0.2 \times 4 + 0.1 \times 2.5 \times 0.08$ =0.16 0.160×1	無筋 $\sigma = 180$ 0.16 m³	は つ り 工
		モルタル仕上	$0.3 \times 0.3 \times 6 + 0.2 \times 0.2 \times 4 + 0.3 \times 4 \times 0.05 \times 6 + 0.2 \times 4 \times 0.05 \times 4 + (0.05 \times 2 + 0.1) \times 2.5$ =1.72 1.720×1	厚さ配合 1.72 m²	型 枠 工
		モルタル充填			ガラ処分
		鉄筋工			
				kg	
No.	3	名 称	スキップホイス 基礎	数量	1
		コンクリート工	$0.25 \times 0.15 \times 0.05 \times 2$ =0.004 0.004×1	無筋 $\sigma = 180$ 0.004 m³	は つ り 工
		モルタル仕上	$(0.15 \times 0.25 + (0.15 + 0.25) \times 2 \times 0.05) \times 2$ =0.155 0.155×1	厚さ配合 0.155 m²	型 枠 工
		モルタル充填			ガラ処分
		鉄筋工			
				kg	

複 合 工 及 仮 設 計 算 書 (2/2)

(設備名) 機械設備 (第3期) (更新)

No. 4	名 称	ホッパ架台 基礎	数量	4	コン クリ ート 工	0.4×0.4×0.1 =0.016	無筋 σ=180	は つ り 工		
						0.016×4				
							0.064 m³			m³
					モ ル タル 仕 上	0.4×0.4+0.4×4×0.1 =0.32	厚さ 配合	型 枠 工	0.4×4×0.1 =0.16	
						0.320×4			0.160×4	
							1.28 m²			0.64 m²
					モ ル タル 充 填			ガ ラ 処 分		
							m³			m³
					鉄 筋 工					
							kg			
No. 5	名 称	タラップ 基礎	数量	1	コン クリ ート 工	0.15×0.7×0.05 =0.005	無筋 σ=180	は つ り 工		
						0.005×1				
							0.005 m³			m³
					モ ル タル 仕 上	0.15×0.7+(0.15+0.7)×2×0.05 =0.19	厚さ 配合	型 枠 工	(0.15+0.7)×2×0.05 =0.085	
						0.190×1			0.085×1	
							0.19 m²			0.085 m²
					モ ル タル 充 填			ガ ラ 処 分		
							m³			m³
					鉄 筋 工					
							kg			
No.	名 称		数量		コン クリ ート 工		無筋 σ=180	は つ り 工		
							m³			m³
					モ ル タル 仕 上		厚さ 配合	型 枠 工		
							m²			m²
					モ ル タル 充 填			ガ ラ 処 分		
							m³			m³
					鉄 筋 工					
							kg			

配 管 被 覆 工 集 計 表 (1/1)

(設備名) 機械設備 (第3期) (更新)

[illegible]

複 合 工 及 仮 設 計 算 書 (1/1)

(設備名) 機械設備 (第3期) (撤去)

No. 1	名 称	スキップホイスト 基礎	数量 1	コン クリ ート 工		無筋 $\sigma = 180$	は つ り 工	0.25×0.15×0.05×2	
								=0.004	
								0.004×1	
			2ヶ/台	モ ル タ ル 仕 上		厚さ 配合	型 枠 工		0.004 m ³
			H50	モ ル タ ル 充 填		m ²	ガ ラ 処 分	0.25×0.15×0.05×2	
								=0.004	
								0.004×1	
			仕上げは本工事による。	鉄 筋 工		m ³			0.004 m ³
No. 2	名 称	ホッパ架台 基礎	数量 4	コン クリ ート 工		無筋 $\sigma = 180$	は つ り 工	0.4×0.4×0.1	
								=0.016	
								0.016×4	
			H100	モ ル タ ル 仕 上		厚さ 配合	型 枠 工		0.064 m ³
			仕上げは本工事による。	モ ル タ ル 充 填		m ²	ガ ラ 処 分	0.4×0.4×0.1	
								=0.016	
								0.016×4	
			H50	鉄 筋 工		m ³			0.064 m ³
No. 3	名 称	タラップ 基礎	数量 1	コン クリ ート 工		無筋 $\sigma = 180$	は つ り 工	0.15×0.7×0.05	
								=0.005	
								0.005×1	
			H50	モ ル タ ル 仕 上	0.15×0.7	厚さ 配合	型 枠 工		0.005 m ³
					=0.105				
					0.105×1				
			H50	モ ル タ ル 充 填		0.105 m ²	ガ ラ 処 分	0.15×0.7×0.05	
								=0.005	
								0.005×1	
			H50	鉄 筋 工		m ³			0.005 m ³

撤 去 工 事

第3期

一般労務員・工場派遣労務員集計表

(設備名) 機械設備 (第3期) (撤去)

	普通作業員 (人)	配管工 (人)	設備機械工 (人)	溶接工 (人)	はつり工 (人)	電 工 (人)	技術者 (人)	機械設備据付工 (人)	備 考
機 器 等 据 付 工	2.30		7.80 20.70						
鋳 鉄 管 据 付 工									
鋼 管 据 付 工									
小 配 管 据 付 工		0.03							
複 合 工									
試 運 転 費									
計	2.30	0.03	28.50						
設 計 数 量	2 人	1 人	28 人						

機 器 等 据 付 工

X: 1台当り質量(t)

X' : 1槽当り必要空気量(m³/min)

(設備名) 機械設備 (第3期) (撤去)

[illegible][illegible]

注記) 機械設備据付工は設備機械工と読み替える。

スクラップ材集計表

(設備名) 機械設備 (第3期) (撤去)

[illegible]

小配管・塩ビ管据付工 (1/1)

(設備名) 機械設備 (第3期) (撤去)

屋 内 配 管							
	口径	設 計 数 量	配 管 工		普通作業員		口径
	mm		歩掛 (人/m)	人員 (人)	歩掛 (人/m)	人員 (人)	mm
鋼管・ 小配管 (SGPW)	15		0.06		(0.13*1.3*0.4)=0.06		
	20		0.08		(0.16*1.3*0.4)=0.08		
	25		0.09		(0.19*1.3*0.4)=0.09		
	32		0.11		(0.23*1.3*0.4)=0.11		
	40		0.14		(0.27*1.3*0.4)=0.14		
	50		0.17		(0.33*1.3*0.4)=0.17		
	65		0.21		(0.41*1.3*0.4)=0.21		
	80		0.25		(0.49*1.3*0.4)=0.25		
	100		0.31		(0.60*1.3*0.4)=0.31		
	125		0.38		(0.74*1.3*0.4)=0.38		
	150		0.45		(0.88*1.3*0.4)=0.45		
	200		0.60		(1.16*1.3*0.4)=0.60		
	250		0.74		(1.44*1.3*0.4)=0.74		
	300		0.89		(1.72*1.3*0.4)=0.89		
	8		0.04		(0.09*1.3*0.4)=0.04		
	小計						

硬質塩化ビニル管							
	10		0.04				
	15		—				
	20		0.04		(0.09*1.3*0.4)=0.04		
	25		0.05		(0.11*1.3*0.4)=0.05		
	30		0.06		(0.13*1.3*0.4)=0.06		
	40		0.07		(0.15*1.3*0.4)=0.07		
	50		0.09		(0.18*1.3*0.4)=0.09		
	65		0.11		(0.22*1.3*0.4)=0.11		
	75		0.13		(0.26*1.3*0.4)=0.13		
	100		0.16		(0.32*1.3*0.4)=0.16		
	125		0.20		(0.39*1.3*0.4)=0.20		
	150		0.23		(0.46*1.3*0.4)=0.23		
	200						
	250						
	300						
	350						
	小計						

屋 外 配 管							
	口径	設 計 数 量	配 管 工		普通作業員		口径
	mm		歩掛 (人/m)	人員 (人)	歩掛 (人/m)	人員 (人)	mm
鋼管・ 小配管 (SGPW)	15		0.01		(0.04*0.4)=0.01		
	20		0.04		(0.12*0.4)=0.04		
	25	0.99	0.04	0.03	(0.12*0.4)=0.04		
	32		0.07		(0.18*0.4)=0.07		
	40		0.03		(0.08*0.4)=0.03		
	50		0.04		(0.10*0.4)=0.04		
	65		0.12		(0.32*0.4)=0.12		
	80		0.15		(0.39*0.4)=0.15		
	100		0.07		(0.19*0.4)=0.07		
	125		0.23		(0.59*0.4)=0.23		
	150		0.29		(0.73*0.4)=0.29		
	200		0.36		(0.92*0.4)=0.36		
	250		0.46		(1.15*0.4)=0.46		
	300		0.54		(1.37*0.4)=0.54		
	350		0.64		(1.61*0.4)=0.64		
	小計			0.03			

硬質塩化ビニル管							
	13		0.06				13
	16		0.06				16
	20		0.07				20
	25		0.08				25
	30		0.10				30
	40		0.12				40
	50		0.14				50
	65		0.17				65
	75		0.20				75
	100		0.25				100
	125		0.31				125
	150		0.36				150
	200		0.53				200
	250		0.66				250
	300		0.79				300
	350		0.79				350
	小計						

埋 設 配 管							
	口径	設 計 数 量	配 管 工		普通作業員		口径
	mm		歩掛 (人/m)	人員 (人)	歩掛 (人/m)	人員 (人)	mm
鋼管・ 小配管 (SGPW)	15		0.06				15
	20		0.07				20
	25		0.09				25
	32		0.11				32
	40		0.12				40
	50		0.15				50
	65		0.19				65
	80		0.21				80
	100		0.27				100
	125		0.32				125
	150		0.40				150
	200		0.57				200
	250		0.77				250
	300		0.93				300
	350		1.11				350
	小計						

硬質塩化ビニル管							
	13		0.03		(0.06*1.3*0.4)=0.03		
	16		0.03		(0.06*1.3*0.4)=0.03		
	20		0.03		(0.07*1.3*0.4)=0.03		
	25		0.04		(0.08*1.3*0.4)=0.04		
	30		0.05		(0.10*1.3*0.4)=0.05		
	40		0.05		(0.11*1.3*0.4)=0.05		
	50		0.07		(0.15*1.3*0.4)=0.07		
	65		0.09		(0.19*1.3*0.4)=0.09		
	75		0.11		(0.22*1.3*0.4)=0.11		
	100		0.14		(0.28*1.3*0.4)=0.14		
	125		0.17		(0.34*1.3*0.4)=0.17		
	150		0.21		(0.41*1.3*0.4)=0.21		
	200		0.27		(0.53*1.3*0.4)=0.27		
	250		0.34		(0.66*1.3*0.4)=0.34		
	300		0.41		(0.79*1.3*0.4)=0.41		
	350		0.41		(0.79*1.3*0.4)=0.41		
	小計						

注記) 屋内配管は、既設管廊とする。

合計	配 管 工	0.03	人	据付工合計	0.03 人
	普通作業員		人		

小配管材料・据付集計表

(設備名) 機械設備 (第3期) (撤去)

管口	種 径	サブトンNo. 付属材料率	11													実 数 量 計	設 計 数 量	スクラップ
SGPW 25A	材 料																	
	据 付	屋 内 屋 外 埋 設	0.9													0.9	0.99	2.19
	材 料																	
	据 付	屋 内 屋 外 埋 設																
	材 料																	
	据 付	屋 内 屋 外 埋 設																
	材 料																	
	据 付	屋 内 屋 外 埋 設																
	材 料																	
	据 付	屋 内 屋 外 埋 設																
																スクラップ重量 (SGPW)		2.19

小 配 管 弁 類 材 料 数 量 計 算 書

(設備名) 機械設備 (第3期) (撤去)

[illegible]

()

鋼製架台類及び塗装面積集計表 (1/1)

(設備名) 機械設備 (第3期) (撤去)

種 別	SS											
名 称												
1. ホッパ架台	4002.912											
計 (kg)	4002.912											
単 位 重 量(kg/m) (kg/m ²)	—											鋼材計 (SS) 4002.912
鋼 材 重 量 計(kg)	4002.912											
端 数 処 理 重 量(kg)	4000											(7類) 4.003 t
塗 装 面 積												塗装面積計 m ²

鋼 製 架 台 計 算 書 (1/1)

(設備名) 機械設備 (第3期) (撤去)

名 称			数量	略 図	算 出 式	合計数量	単位重量(kg/m・ kg/m2)	重量計(kg)
No.	1	ホッパ架台	1	別紙参照		40m	49.90	1996.000
K-11								
					H200×200×8/12			
					4.0×2+3.3×4+4.7×4			
					[125×65×6			
					(0.25+4.8)×2+3.5×2+1.4×5+0.95+0.85+1.0×2+2.0×2	48.584m	13.40	651.026
					+1.942×2+(3.3+3.1)×2			
					L75×75×9			
					2.055×2×4+4.245×2×2	33.42m	9.96	332.863
					PL6			
					(0.2×0.4+0.3×0.55×2+0.4×0.4+(0.315×0.2-0.215×0.2×1/2)	1.786m2	47.10	84.121
					×2)×2+(0.2×0.4+(0.2×0.45-0.2×0.1×1/2)×2)×2			
					PL9			
					0.3×0.3×4	0.36m2	70.65	25.434
					chPL4.5			
					4.8×4.0-1.6×1.6	16.64m2	36.99	615.514
					25ASGP			
					1.0+0.25+4.05+4.0+4.8+1.0+1.1×14+0.4×14	36.1m	2.43	87.723
					32ASGP			
					1.0+0.25+4.05+4.0+4.8+1.0+1.1×4+(0.15×π×1/2+1.101+4.7)×2	31.573m	3.38	106.717
					FB50×6			
					1.0+0.25+4.05+4.0+4.8+1.0+0.345×2+0.359×2×4+1.1×5	43.862m	2.36	103.514
					+3.8×5+0.1×2+0.5			

複 合 工 及 仮 設 集 計 表 (1/1)

(設備名) 機械設備 (第3期) (撤去)

[illegible]

[illegible]

種 別	算 式	数 量
鉄筋コンクリート工	・ 底 版 $4.750 \times 4.900 \times 0.600 = 13.965 \text{ m}^3$ $0.200 \times 0.200 \times 4.900 = 0.196 \text{ ''}$ $0.200 \times 0.150 \times 1.300 \times 2 = 0.078 \text{ ''}$ $-0.200 \times 0.200 \times 4.500 = -0.180 \text{ ''}$ $-1/4 \times \pi \times 0.300^2 \times 0.100 \times 4 = -0.028 \text{ ''}$ 底 版 小 計 14.031 m³ 鉄筋コンクリート工 合 計 14.031 m³	14.0 m ³
型枠工	・ 底 版（鉄筋コンクリート用 普通型枠） $(4.750 + 4.900) \times 0.600 \times 2 = 11.580 \text{ m}^2$ $0.200 \times 4.900 \times 2 + 0.200 \times 0.200 \times 2 = 2.040 \text{ ''}$ $0.200 \times 4.500 \times 2 + 0.200 \times 0.200 = 1.840 \text{ ''}$ $0.150 \times 1.300 \times 4 + 0.200 \times 0.150 \times 2 = 0.840 \text{ ''}$ 底版（普通型枠）小 計 16.300 m² 鉄筋コンクリート用 普通型枠 合 計 16.300 m²	16.3 m ²
鉄筋工	D13 0.046 t D22 1.338 '' 合計 1.384 t	0.046 t 1.338 t 1.384 t
後施工アンカー	D13 12 箇所	12 箇所
均しコンクリート工	$4.850 \times 5.100 \times 0.050 = 1.237 \text{ m}^3$ $-1/4 \times \pi \times 0.300^2 \times 0.050 \times 4 = -0.014 \text{ ''}$ 均しコンクリート工 合 計 1.223 m³	1.2 m ³
均しコンクリート型枠工	・ 無筋コンクリート用 普通型枠 $(4.850 + 5.100) \times 0.050 \times 2 = 0.995 \text{ m}^2$ 均しコンクリート型枠工 合 計 0.995 m²	1.0 m ²
基礎砕石工	$4.850 \times 5.100 = 24.735 \text{ m}^2$ $-1/4 \times \pi \times 0.300^2 \times 4 = -0.283 \text{ ''}$ 基礎砕石工 合 計 24.452 m²	24.5 m ²

種 別	算 式	数 量
土工		
掘削	$1/2 \times (7.400 \times 6.000 + 5.900 \times 5.250) \times 0.750 = 28.266 \text{ m}^3$ 鉄筋Co取壊しより = -11.617 " 無筋Co取壊しより = -1.262 " 土工(掘削) 合 計 15.387 m ³	15.4 m ³
残土	15.387 - 12.565 掘削ー埋戻し = 2.822 m ³ 土工(残土) 合 計 2.822 m ³	2.8 m ³
埋戻し	$1/2 \times (7.250 \times 7.400 + 5.750 \times 5.900) \times 0.750 = 32.841 \text{ m}^3$ -4.750 × 4.900 × 0.600 躯体 = -13.965 " -4.950 × 5.100 × (0.050 + 0.200) 均し・砕石 = -6.311 " 土工(埋戻し) 合 計 12.565 m ³	12.6 m ³
既設取壊し工		
鉄筋Co取壊し	4.750 × 4.900 × 0.500 = 11.638 m ³ $1/4 \times \pi \times 0.450^2 \times (0.350 - 0.100) \times 4 = 0.159 \text{ "}$ -0.200 × 0.200 × 4.500 = -0.180 " 鉄筋Co取壊し 合 計 11.617 m ³	11.6 m ³
無筋Co取壊し	4.950 × 5.100 × 0.050 = 1.262 m ³ 無筋Co取壊し 合 計 1.262 m ³	1.3 m ³
鉄筋Coガラ処分	鉄筋Co取壊しより 11.617 m ³ 鉄筋Coガラ処分 合 計 11.617 m ³	11.6 m ³
無筋Coガラ処分	無筋Co取壊しより 1.262 m ³ 無筋Coガラ処分 合 計 1.262 m ³	1.3 m ³

[illegible]

基礎杭工

種 別	算 式	数 量
基 礎 杭 工		
P H C 杭	$\phi 300$ (B種) L=7.000m N = 4 本 $\phi 300$ (A種) L=11.000m N = 4 本 $\phi 300$ (A種) L=12.000m N = 4 本	4 本 4 本 4 本
打 込 長	PHC杭 $\phi 300$ L=30.000m N= 4 本 L= 30.500 m ※施工基面TP+0.600から 総打込長 30.500×4 = 122.000 m	 122.0 m
P H C 杭	PHC杭 $\phi 300$ (B種) L=7.000m N= 4 本 = 0.820 t/本 PHC杭 $\phi 300$ (A種) L=11.000m N= 4 本 = 1.290 t/本 PHC杭 $\phi 300$ (A種) L=12.000m N= 4 本 = 1.410 t/本 総 重 量 $0.820 \times 4 + 1.290 \times 4 + 1.410 \times 4$ = 14.080 t	 14.1 t
中 詰 コンクリート	一本当り体積 PHC杭 $\phi 300$ (B種) $\pi / 4 \times 0.180^2 \times 0.850$ = 0.022 m ³ /本 総 体 積 0.022×4 = 0.088 m ³	 0.09 m ³
吊り型枠	総 面 積 $\pi / 4 \times 0.180^2 \times 4$ = 0.102 m ²	0.10 m ²
杭土処理量	$\pi / 4 \times (0.300^2 - 0.180^2) \times 30.000 \times 4$ = 5.429 m ³ 合 計 = 5.429 m ³	 5.4 m ³
鉄 筋	SD345 D13 : 7×4 = 28 kg D13 : 6×4 = 24 kg 合 計 : = 52 kg	 0.03 t 0.02 t 0.05 t

参 考 図

－和田雨水排水ポンプ場除塵設備（機械設備）更新工事（7-1）－



年次	人口		出生率		死亡率		自然增长率		性别比	出生人口性别比
	总人口	城镇人口	出生率	死亡率	出生率	死亡率	出生率	死亡率		
1949	10,000,000	1,000,000	20.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	100	100
1950	10,500,000	1,100,000	20.5	10.5	10.5	10.5	10.0	10.0	100	100
1951	11,000,000	1,200,000	21.0	11.0	11.0	11.0	10.0	10.0	100	100
1952	11,500,000	1,300,000	21.5	11.5	11.5	11.5	10.0	10.0	100	100
1953	12,000,000	1,400,000	22.0	12.0	12.0	12.0	10.0	10.0	100	100
1954	12,500,000	1,500,000	22.5	12.5	12.5	12.5	10.0	10.0	100	100
1955	13,000,000	1,600,000	23.0	13.0	13.0	13.0	10.0	10.0	100	100
1956	13,500,000	1,700,000	23.5	13.5	13.5	13.5	10.0	10.0	100	100
1957	14,000,000	1,800,000	24.0	14.0	14.0	14.0	10.0	10.0	100	100
1958	14,500,000	1,900,000	24.5	14.5	14.5	14.5	10.0	10.0	100	100
1959	15,000,000	2,000,000	25.0	15.0	15.0	15.0	10.0	10.0	100	100
1960	15,500,000	2,100,000	25.5	15.5	15.5	15.5	10.0	10.0	100	100
1961	16,000,000	2,200,000	26.0	16.0	16.0	16.0	10.0	10.0	100	100
1962	16,500,000	2,300,000	26.5	16.5	16.5	16.5	10.0	10.0	100	100
1963	17,000,000	2,400,000	27.0	17.0	17.0	17.0	10.0	10.0	100	100
1964	17,500,000	2,500,000	27.5	17.5	17.5	17.5	10.0	10.0	100	100
1965	18,000,000	2,600,000	28.0	18.0	18.0	18.0	10.0	10.0	100	100
1966	18,500,000	2,700,000	28.5	18.5	18.5	18.5	10.0	10.0	100	100
1967	19,000,000	2,800,000	29.0	19.0	19.0	19.0	10.0	10.0	100	100
1968	19,500,000	2,900,000	29.5	19.5	19.5	19.5	10.0	10.0	100	100
1969	20,000,000	3,000,000	30.0	20.0	20.0	20.0	10.0	10.0	100	100
1970	20,500,000	3,100,000	30.5	20.5	20.5	20.5	10.0	10.0	100	100
1971	21,000,000	3,200,000	31.0	21.0	21.0	21.0	10.0	10.0	100	100
1972	21,500,000	3,300,000	31.5	21.5	21.5	21.5	10.0	10.0	100	100
1973	22,000,000	3,400,000	32.0	22.0	22.0	22.0	10.0	10.0	100	100
1974	22,500,000	3,500,000	32.5	22.5	22.5	22.5	10.0	10.0	100	100
1975	23,000,000	3,600,000	33.0	23.0	23.0	23.0	10.0	10.0	100	100
1976	23,500,000	3,700,000	33.5	23.5	23.5	23.5	10.0	10.0	100	100
1977	24,000,000	3,800,000	34.0	24.0	24.0	24.0	10.0	10.0	100	100
1978	24,500,000	3,900,000	34.5	24.5	24.5	24.5	10.0	10.0	100	100
1979	25,000,000	4,000,000	35.0	25.0	25.0	25.0	10.0	10.0	100	100
1980	25,500,000	4,100,000	35.5	25.5	25.5	25.5	10.0	10.0	100	100
1981	26,000,000	4,200,000	36.0	26.0	26.0	26.0	10.0	10.0	100	100
1982	26,500,000	4,300,000	36.5	26.5	26.5	26.5	10.0	10.0	100	100
1983	27,000,000	4,400,000	37.0	27.0	27.0	27.0	10.0			

[illegible]

縣市	總人口	男性	女性	人口密度
台北市	2,048,000	1,024,000	1,024,000	1,024
新北市	3,800,000	1,900,000	1,900,000	1,900
台中市	2,500,000	1,250,000	1,250,000	1,250
台南市	1,800,000	900,000	900,000	900
高雄市	2,200,000	1,100,000	1,100,000	1,100
基隆市	350,000	175,000	175,000	175
新竹市	400,000	200,000	200,000	200
嘉義市	300,000	150,000	150,000	150
屏東市	250,000	125,000	125,000	125
花蓮市	200,000	100,000	100,000	100
台東市	150,000	75,000	75,000	75
澎湖縣	100,000	50,000	50,000	50
金門縣	50,000	25,000	25,000	25
馬祖縣	20,000	10,000	10,000	10

